

令和4年度 第2回 都島区民アンケート結果

(防災、防犯、マナー向上、地域福祉、広報誌・ホームページ・SNS)

令和5年4月
令和6年3月修正

大阪市都島区役所

目次

1. 調査の概要	
1-1. 調査目的	1
1-2. 調査方法	1
1-3. 調査内容	1
1-4. 配布・回収結果	2
1-5. 調査結果の見方	2
1-6. 標本誤差	2
1-7. 標本の代表性	3
2. アンケートの結果（ダイジェスト）	5
3. アンケートの結果	
3-1. 属性	
問1A 性別	7
問1B 年代	7
問1C お住まいの地域	8
問1D 居住年数	8
問1E 子育て状況	9
3-2. 防災について	
問2 避難する場所の認知	10
問3 災害への備えの実施状況	11
問4 災害の備えを行っていない理由	12
問5 助け合い（共助）ができる関係づくりの必要性	13
3-3. 防犯について	
問6 啓発活動の取組に対する地域の安全や区民の防災意識向上の感じ方	14
問7 区民の防犯意識向上による犯罪発生抑止の感じ方	15
3-4. マナー向上について	
問8 交通マナー向上の取組	16
問9 市民協働による取組に対する来街者の環境美化意識向上の感じ方	17
問10 啓発活動等推進の必要性	18
問11 喫煙マナー啓発などの取組による美しいまちづくりへの感じ方	19
3-5. 地域福祉について	
問12 民生委員等の地域の見守りによる高齢者等の安心な暮らしへの 感じ方	20
問13 福祉サービスの情報収集先	21
問14 都島区が高齢者等に対して優しいまちであるかの感じ方	22
3-6. 広報誌・ホームページ・SNS	
問15 区役所からの情報の入手先	23
問16 区役所からの情報でもっと詳しく知りたい内容	24
問17 動画配信で今後、見たいコンテンツ	25

問 18	広報誌を見て、区や区政に対する関心の感じ方	26
問 19	意見やニーズを区役所へ伝える方法の認知	27
3－7．	自由意見	
問 20	区政についての意見・感想	28
(参考)	挨拶状・アンケート調査票	35

1. 調査の概要

1-1. 調査目的

都島区役所では、取組の成果を定期的にチェックするため、幅広い区民の皆様の評価やご意見をお聞きしています。

今回のテーマは、「防災」「防犯」「マナー向上」「地域福祉」「広報誌・ホームページ・SNS」です。

1-2. 調査方法

調査区域：都島区全域

調査対象：住民基本台帳および外国人登録から無作為抽出をした都島区民 1,500 人

回答者数：525 人

回答率：35.0%

調査時期：令和4年12月

調査方法：郵送による配布・回収及び大阪市行政オンラインシステムによるアンケート

1-3. 調査内容

アンケート調査の内容は、以下のとおりです。

■アンケート調査の項目

1. 属性 問1 A. 性別 B. 年代 C. お住まいの地域 D. 居住年数 E. 高校生以下の子どもの子育て有無	4. マナー向上について 問8 交通マナー向上の取組 問9 市民協働による取組に対する来街者の環境美化意識向上の感じ方 問10 啓発活動等推進の必要性 問11 喫煙マナー啓発などの取組による美しいまちづくりへの感じ方
2. 防災について 問2 避難する場所の認知 問3 災害への備えの実施状況 問4 災害の備えを行っていない理由 問5 助け合い（共助）ができる関係づくりの必要性	5. 地域福祉について 問12 民生委員等の地域の見守りによる高齢者等の安心な暮らしへの感じ方 問13 福祉サービスの情報収集先 問14 都島区が高齢者等に対して優しいまちであるかの感じ方
3. 防犯について 問6 啓発活動の取組に対する地域の安全や区民の防災意識向上の感じ方 問7 区民の防犯意識向上による犯罪発生抑止の感じ方	6. 広報誌・ホームページ・SNS 問15 区役所からの情報の入手先 問16 区役所からの情報でもっと詳しく知りたい内容 問17 動画配信で今後、見たいコンテンツ 問18 広報誌を見て、区や区政に対する関心の感じ方 問19 意見やニーズを区役所へ伝える方法の認知
	7. 自由意見 問20 区政についての意見・感想（自由意見）

1－4．配布・回収結果

配布・回収結果を示したものが下表です。

■配布・回収結果

		アンケート送付数			回答者数					回答率
		男性	女性	合計	男性	女性	その他・ 回答しない	無回答	総計	
年代	30代以下	236	257	493	34	74	0	0	108	21.9
	40～50代	231	255	486	58	103	0	1	162	33.3
	60代以上	234	287	521	113	138	1	0	252	48.3
	無回答	-	-	-	0	1	0	2	3	-
	合計	701	799	1500	205	316	1	3	525	35.0

1－5．調査結果の見方

- ・回答結果の割合「％」は、小数点以下第1位を四捨五入したものです。このため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合があります。
- ・複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ形式）の場合、回答は選択肢の有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100%を超える場合があります。
- ・図表中の「無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ・図表中の「n」（サンプル数）は有効標本数（集計対象者総数）、あるいは分類別の該当対象者数を示しています。
- ・数値に関する記述は下記の基準にしたがっています。

例：	3割	30%
	約3割	28～29%、31～32%
	3割強	33～34%
	3割半	35%
	4割弱	36～37%

1－6．標本誤差

標本誤差とは、標本による測定値（調査の結果）に基づいて、母集団値を推定するものです。

今回の調査は標本調査として実施しています。しかし、1－4．配布・回収結果で示した通り回答率は35.0%に留まっています。そして、後述する1－7．標本の代表性で述べる通り標本（アンケート回答者集団）は各年齢区分間において母集団に対する代表性を有しない（偏りがある）と判断されています。

理論的に求められる標本誤差については次の式で算出できますが、上記の理由から本調査の結果には標本誤差以外に大きな非標本誤差が発生している可能性が高く、本調査の結果を母比率の推定値として用いる場合にはこの点に留意する必要があります。

信頼度95%で推定した場合の信頼区間1/2幅（標本誤差）は、次の式で算出されます。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \times \sqrt{\frac{P \times (1-P)}{n}}$$

■性別・年代別 回答比率ごとの標本誤差

(単位：％)

	回答比率(P) 回答者数(n)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
		95%	90%	85%	80%	75%	70%	65%	60%	55%	50%
全体	525	1.9	2.6	3.1	3.4	3.7	3.9	4.1	4.2	4.3	4.3
男性	205	3.0	4.1	4.9	5.5	5.9	6.3	6.5	6.7	6.8	6.8
女性	316	2.4	3.3	3.9	4.4	4.8	5.1	5.3	5.4	5.5	5.5
30代以下	108	4.1	5.7	6.7	7.5	8.2	8.6	9.0	9.2	9.4	9.4
40～50代	161	3.4	4.6	5.5	6.2	6.7	7.1	7.4	7.6	7.7	7.7
60代以上	251	2.7	3.7	4.4	4.9	5.4	5.7	5.9	6.1	6.2	6.2

例えば、問5の「助け合い（共助）ができる関係づくりの必要性」の結果を見ると、『肯定的意見の割合』（「思う」＋「どちらかと言えば思う」）は女性86%で、ここから導き出される標本誤差の数値は、表にある最も近い値(85%)の『女性』の標本誤差の数値「3.9%」です。

つまり、母集団を対象にこの調査を行なったところ、「肯定的意見の割合」の女性が86%の前後3.9%の区間内、すなわち82.1%～89.9%の区間内にあることが95%の確率で期待されるということの意味しています。

1－7. 標本の代表性

母比率の推定などの統計的推定を行うためには、標本(回答者集団)が母集団に対する代表性を有している必要があります。この点について検証するため、適合度検定を行います。検定する仮説は次のとおりです。

(帰無仮説) 標本は母集団に対する代表性を有する(偏りが無い)

(対立仮説) 標本は母集団に対する代表性を有しない(偏りがある)

有意水準は5%に設定し、検定から得られるP値が有意水準を上回るかどうかで判断します。

(なお、有意水準は「判断が誤っていることをどの程度まで許容するか」を決める基準で事前に決定します。これを5%にするということは、判断が誤っている確率を5%までは許容するということです。また、P値は「帰無仮説が正しいとした場合に、観測された状態を含め、より極端な状態が観測される確率」です。今回の帰無仮説は「標本は母集団に対する代表性を有する」です。これは「標本は母集団から無作為抽出されたものである」と同義ですので、P値は「母集団から無作為に抽出した場合に、回答者集団のような偏りを含め、もっと偏った集団が抽出される確率」ということになります。)

■母集団の大きさ(N) (令和4年9月現在の住民基本台帳人口)

(単位：人)

	30代以下	40～50代	60代以上	合計
男性	14,305	14,941	13,858	43,104
女性	14,950	15,327	17,776	48,053

■有効回答者数(n)

(単位：人)

	30代以下	40～50代	60代以上	合計
男性	34	58	113	205
女性	74	103	138	315

■有効回答者数の母集団の大きさに対する割合（n/N）

（単位：％）

	30 代以下	40～50 代	60 代以上	合計
男性	0.24	0.39	0.82	0.48
女性	0.49	0.67	0.78	0.66

■適合度検定による P 値の算出

男女間における P 値	7.02%
各年齢区分間における P 値	1.54%

適合度検定から得られる男女間における P 値は 7.02％であり有意水準を上回っているものの、一方で各年齢区分間における P 値は 1.54％であり有意水準を下回っていることから、帰無仮説が棄却され、対立仮説が採択されます。つまり、標本は各年齢区分間において母集団に対する代表性を有しない（偏りがある）と判断されます。

2. アンケートの結果（ダイジェスト）

2-1. 防災について（問2～問5）

- ・避難する場所の認知についてみると、「知っている」の割合が69%と約7割となっている。
- ・災害への備えの実施状況についてみると、「(何かひとつでも)災害への備えを行っている」が58%と約6割となっている。
- ・災害の備えを行っていない理由についてみると、「何を備えたら良いかわからないから」が42%と最も高く、約4割となっている。
- ・助け合い（共助）ができる関係づくりの必要性についてみると、“思う”（「思う」＋「どちらかと言えば思う」）が85%と8割半となっている。

2-2. 防犯について（問6～問7）

- ・啓発活動の取組に対する地域の安全や区民の防災意識向上の感じ方についてみると、“思う”（「思う」＋「どちらかと言えば思う」）が68%と約7割となっている。
- ・区民の防犯意識向上による犯罪発生抑止の感じ方についてみると、“感じる”（「感じる」＋「やや感じる」）が61%と約6割となっている。

2-3. マナー向上について（問8～問11）

- ・交通マナー向上の取組についてみると、“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が50%と5割となっている。
- ・市民協働による取組に対する来街者の環境美化意識向上の感じ方についてみると、“思う”（「思う」＋「どちらかと言えば思う」）が74%と7割強となっている。
- ・啓発活動等推進の必要性についてみると、「歩きたばこなど喫煙者マナーの啓発活動」が61%と最も高く、約6割となっている。
- ・喫煙マナー啓発などの取組による美しいまちづくりへの感じ方についてみると、“感じる”（「感じる」＋「やや感じる」）が51%と約5割となっている。

2-4. 地域福祉について（問12～問14）

- ・民生委員等の地域の見守りによる高齢者等の安心な暮らしへの感じ方についてみると、“感じる”（「感じる」＋「やや感じる」）が53%と5割強となっている。
- ・福祉サービスの情報収集先についてみると、「広報誌」が54%と最も高く、5割強となっている。
- ・都島区が高齢者等に対して優しいまちであるかの感じ方についてみると、“感じる”（「感じる」＋「やや感じる」）が43%と4割強となっている。

2-5. 広報誌・ホームページ・SNS（問 15～問 19）

- ・区役所からの情報の入手先についてみると、区広報誌「広報みやこじま」が 75%と最も高く、7 割半となっている。
- ・区役所からの情報でもっと詳しく知りたい内容についてみると、「福祉」が 47%と最も高く、次いで「防災・防犯」が 41%、「健康」が 36%と上位 3 位を占めている。
- ・動画配信で今後、見たいコンテンツについてみると、「イベント等の開催告知」が 40%と最も高く、4 割となっている。
- ・広報誌を見て、区や区政に対する関心の感じ方についてみると、“高まった”（「高まった」＋「少し高まった」）が 57%と 6 割弱となっている。
- ・意見やニーズを区役所へ伝える方法の認知についてみると、「知らない」が 48%と最も高く、約 5 割となっている。

2-6. 自由意見（問 20）

自由意見については、合計 124 件の意見を頂いた。

その内容は、以下の通りとなる。

- ①子育て・教育関係について（2 件）
- ②生活支援・福祉について（9 件）
- ③地域活動・地域コミュニティについて（3 件）
- ④自転車・喫煙・マナー等について（39 件）
- ⑤防災・防犯について（19 件）
- ⑥施設や公園の整備・利用について（4 件）
- ⑦住環境・市街環境について（5 件）
- ⑧市政・区政について（6 件）
- ⑨職員・窓口対応について（1 件）
- ⑩広報について（24 件）
- ⑪アンケートについて（1 件）
- ⑫その他（11 件）

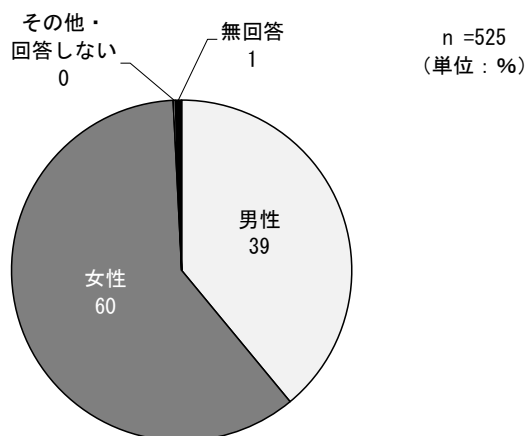
なかでも、④自転車・喫煙・マナー等についてが 39 件と最も多く、次いで⑩広報についてが 24 件、⑤防災・防犯についてが 19 件の順となっている。

3. アンケートの結果

3-1. 防災について

問1 まずは、あなた自身のことをお聞かせください。

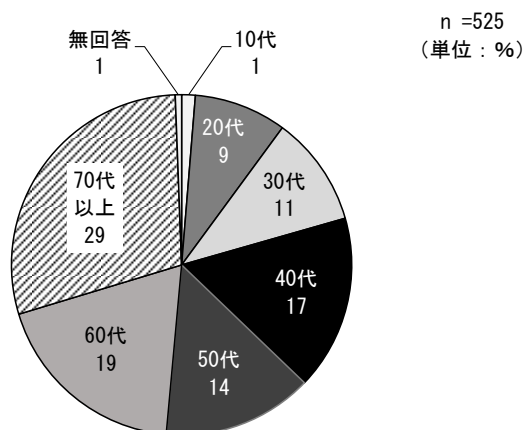
問1 A. 性別



「女性」の割合が6割

・性別についてみると、「男性」が39%、「女性」が60%となっている。

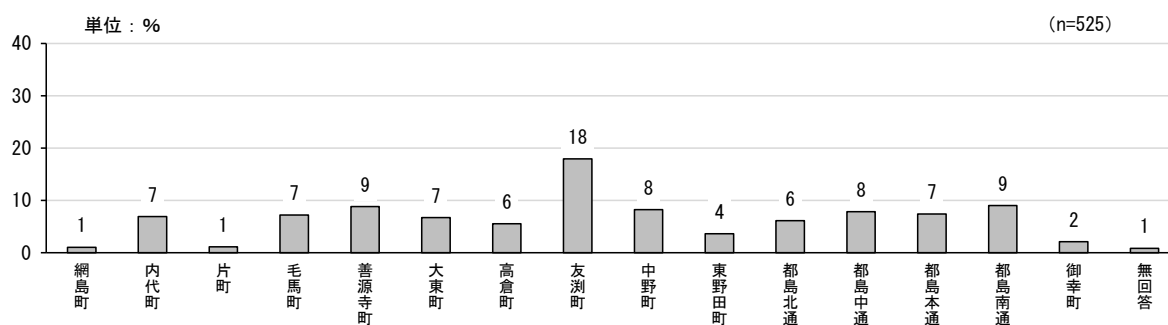
問1 B. 年代



「70代以上」の割合が約3割

・年代についてみると、「70代以上」が29%と最も高く、次いで「60代」が19%、「40代」が17%の順となっている。

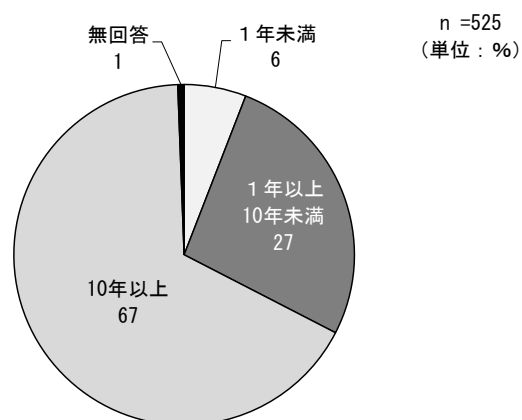
問 1 C. お住まいの地域



「友渚町」の割合が最も高く約 2 割

- ・ お住まいの地域についてみると、「友渚町」が 18% と最も高く、次いで「善源寺町」「都島南通」が共に 9%、「中野町」「都島中通」が共に 8% の順となっている。

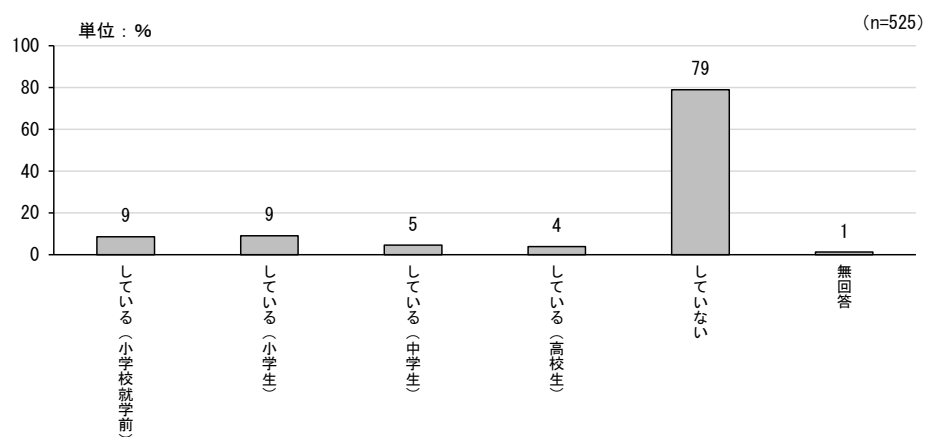
問 1 D. 居住年数



「10 年以上」の割合が 7 割弱

- ・ 居住年数についてみると、「10 年以上」が 67% と最も高く、次いで「1 年以上 10 年未満」が 27%、「1 年未満」が 6% の順となっている。

問 1 E. 子育て状況



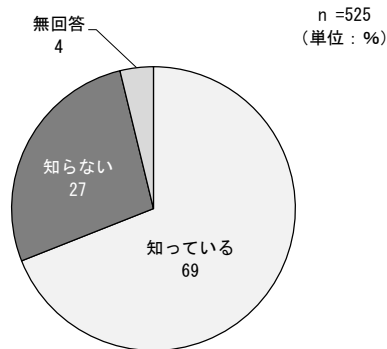
「していない」の割合が最も高く約8割

- ・子育て状況についてみると、「していない」が79%と最も高く、次いで「している（小学校就学前）」「している（小学生）」が共に9%、「している（中学生）」が5%の順となっている。

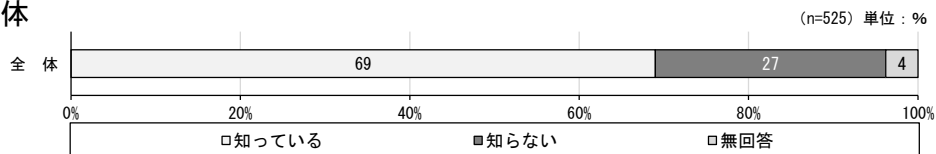
3-2. 防災について

問2 災害時には、自宅での在宅避難や親戚等の家などへの分散避難を推奨しています。在宅避難や分散避難が困難な場合、避難する場所を知っていますか。（1つだけ選んでください）

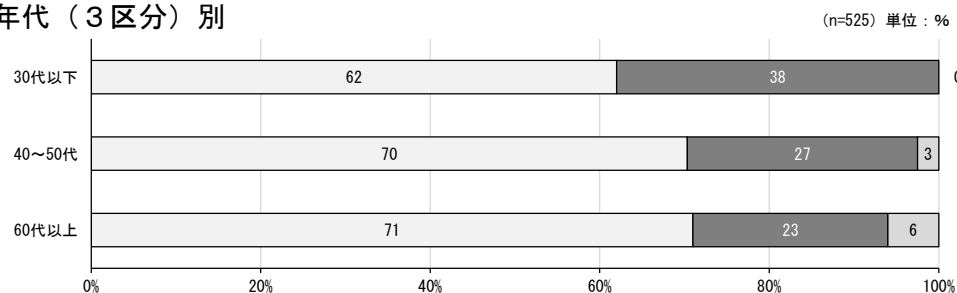
●避難する場所の認知（単数回答）



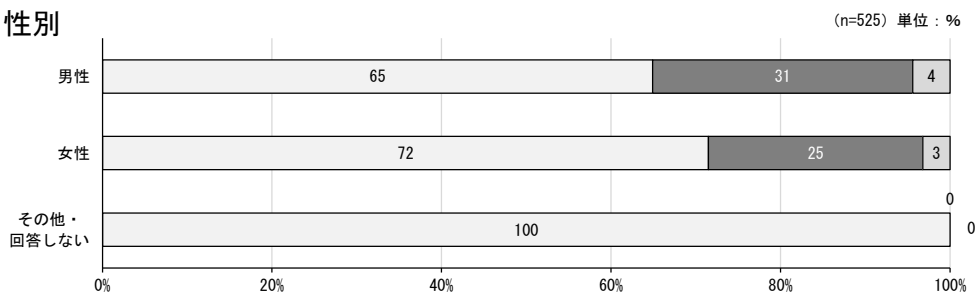
■全体



■年代（3区分）別



■性別

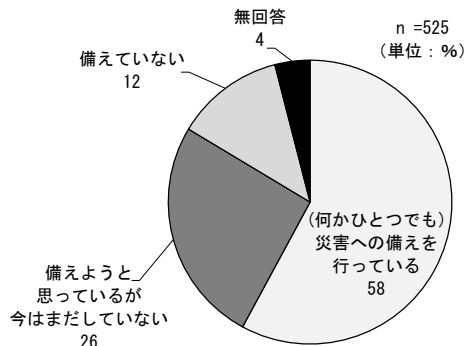


「知っている」の割合が約7割

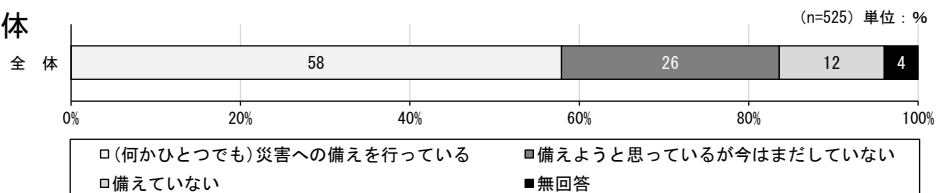
- ・避難する場所の認知についてみると、「知っている」が69%、「知らない」が27%となっている。
- ・年代3区分別にみると、『30代以下』の「知らない」が38%と他の年代と比べて高くなっている。
- ・性別にみると、『女性』の「知っている」が72%と『男性』の同65%と比べて7ポイント高くなっている。

問3 防災・減災には日頃からの備えが大切です。食料の備蓄、家具の固定、家族との連絡方法の確認など何かひとつでも災害への備えを行っていますか。（1つだけ選んでください）

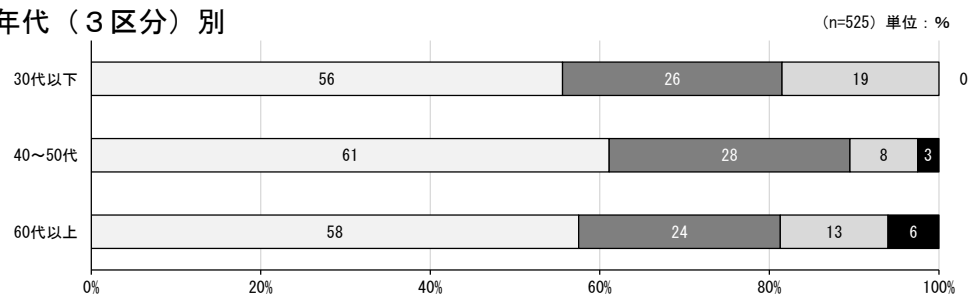
●災害への備えの実施状況（単数回答）



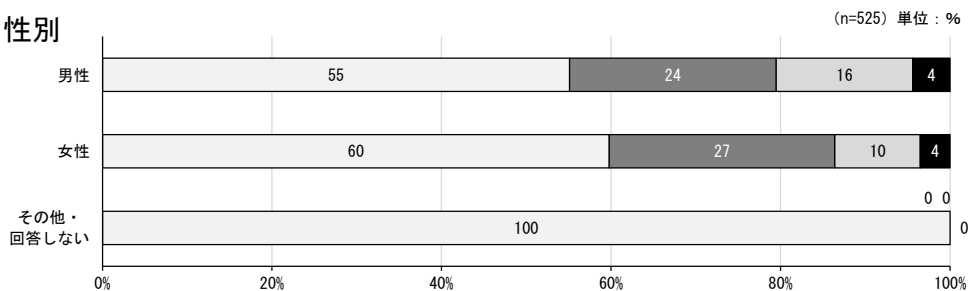
■全体



■年代（3区分）別



■性別



「（何かひとつでも）災害への備えを行っている」の割合が約6割

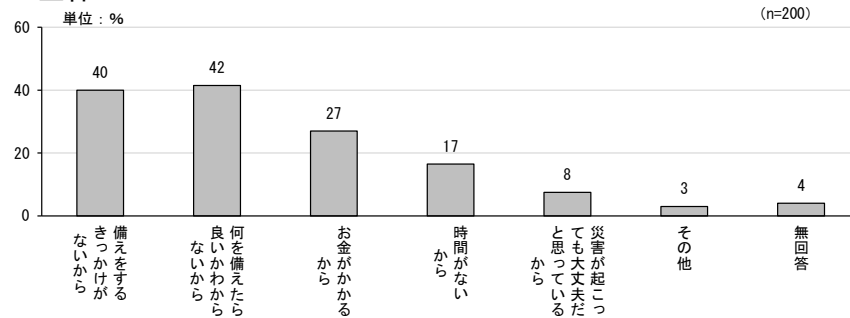
- ・災害への備えの実施状況についてみると、「（何かひとつでも）災害への備えを行っている」が58%と最も高く、次いで「備えようと思っているが今はまだしていない」が26%、「備えていない」が12%の順となっている。
- ・年代3区分別にみると、『40～50代』の「（何かひとつでも）災害への備えを行っている」が61%と他の年代と比べて高くなっている。
- ・性別にみると、『女性』の「（何かひとつでも）災害への備えを行っている」が60%と『男性』の同55%と比べて5ポイント高くなっている。

3で「2 備えようと思っているが今はまだしていない」「3 備えていない」と回答した方におたずねします。

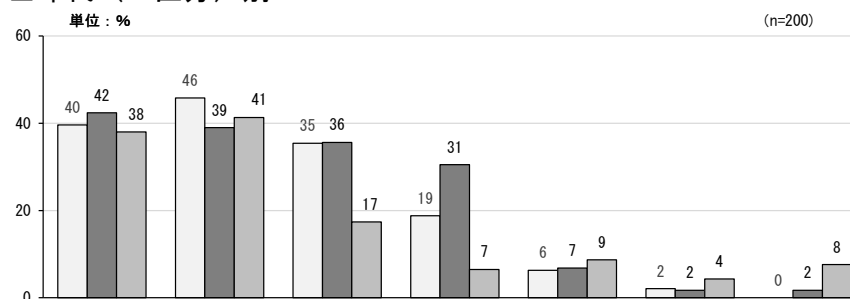
問4 災害への備えを行っていない理由として当てはまるものをお答えください。（いくつでも選んでください）

●災害の備えを行っていない理由（複数回答）

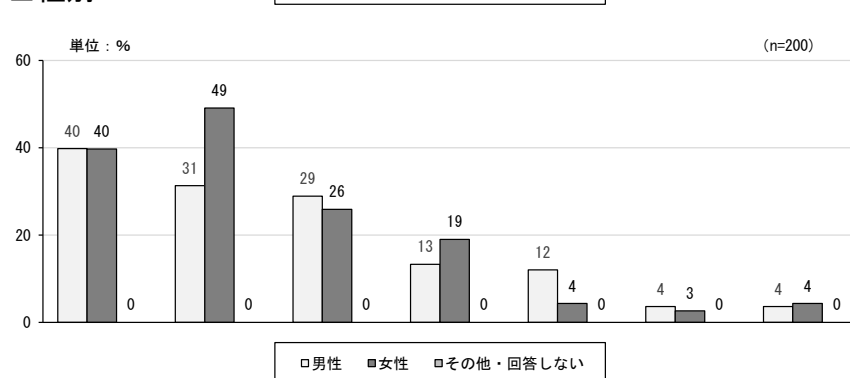
■全体



■年代（3区分）別



■性別

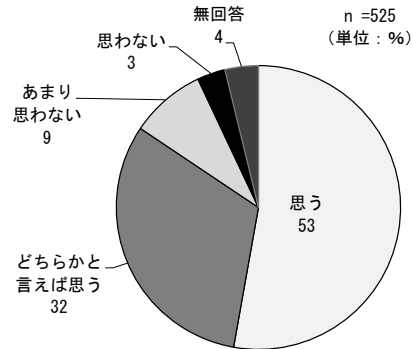


「何を備えたら良いかわからないから」の割合が最も高く約4割

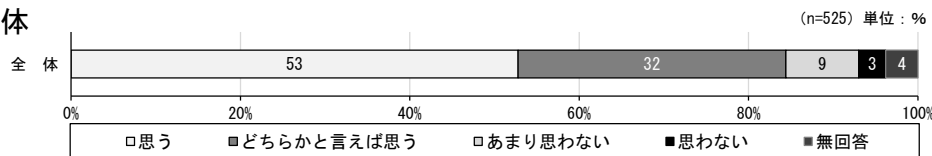
- ・災害の備えを行っていない理由についてみると、「何を備えたら良いかわからないから」が42%と最も高く、次いで「備えをするきっかけがないから」が40%、「お金がかかるから」が27%の順となっている。
- ・年代3区分別にみると、『30代以下』『60代以上』においては「何を備えたら良いかわからないから」が最も高くなっている。一方、『40～50代』では「備えをするきっかけがないから」が最も高くなっている。
- ・性別にみると、『女性』の「何を備えたら良いかわからないから」が49%と『男性』の同31%と比べて18ポイント高くなっている。

問5 台風や地震などの災害が起こった場合には、近隣住民同士で声掛けなどの助け合い（共助）が重要となってきます。日頃から、助け合い（共助）ができる関係づくりが必要だと思いますか。（1つだけ選んでください）

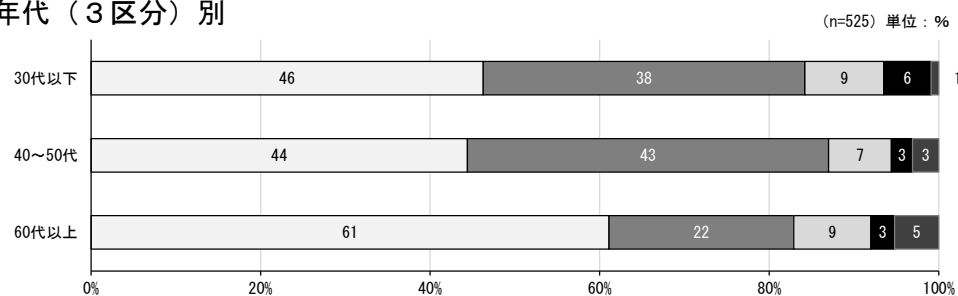
●助け合い（共助）ができる関係づくりの必要性（単数回答）



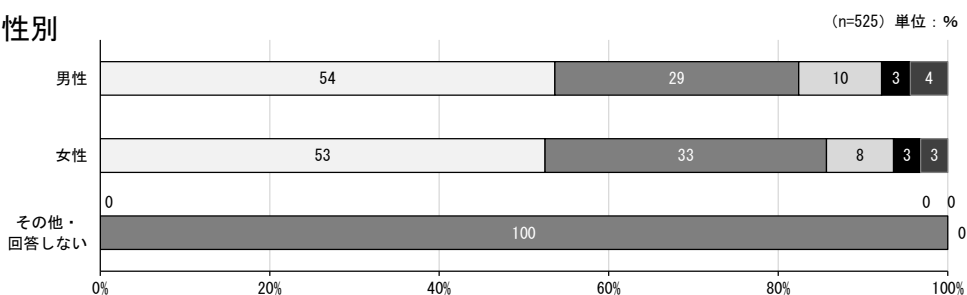
■全体



■年代（3区分）別



■性別



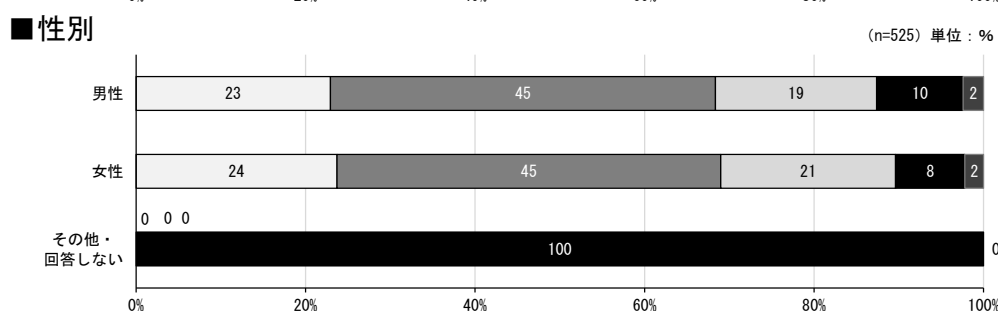
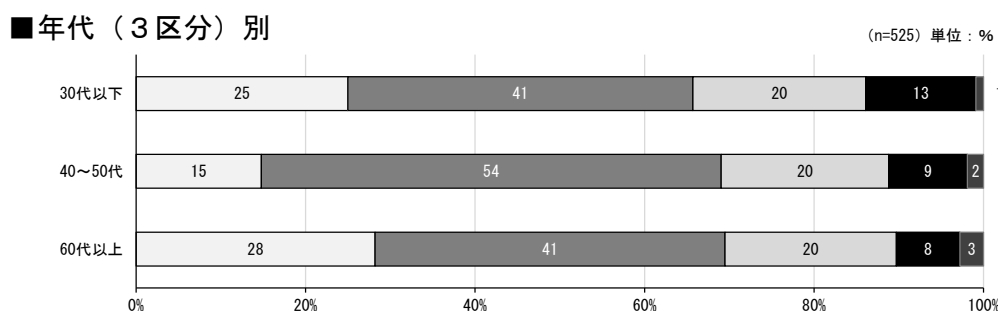
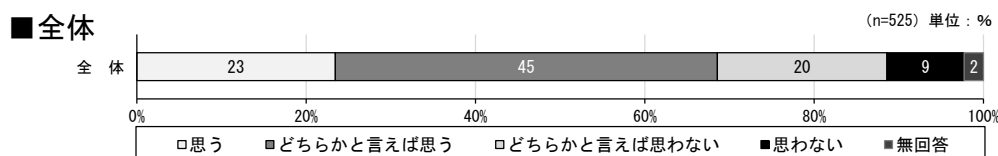
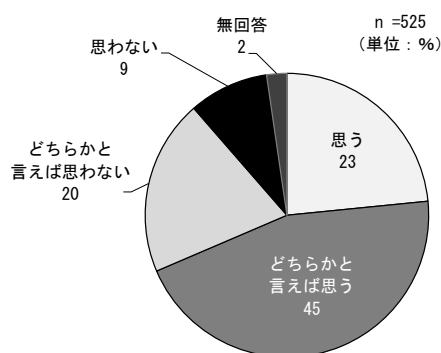
「思う」「どちらかと言えば思う」の合算の割合は8割半

- ・助け合い（共助）ができる関係づくりの必要性についてみると、「思う」が53%と最も高く、次いで「どちらかと言えば思う」が32%、「あまり思わない」が9%の順となっている。
- ・年代3区分別にみると、『40～50代』の“思う”（「思う」＋「どちらかと言えば思う」）が87%と9割弱で他の年代と比べて高くなっている。
- ・性別にみると、『女性』の“思う”（「思う」＋「どちらかと言えば思う」）が86%、『男性』の同83%とほぼ同じ割合となっている。

3-3. 防犯について

問6 区役所が行う防犯啓発の取組が地域の安全や、区民の防犯意識の向上につながっていると思いますか。（1つだけ選んでください）

●啓発活動の取組に対する地域の安全や区民の防災意識向上の感じ方（単数回答）

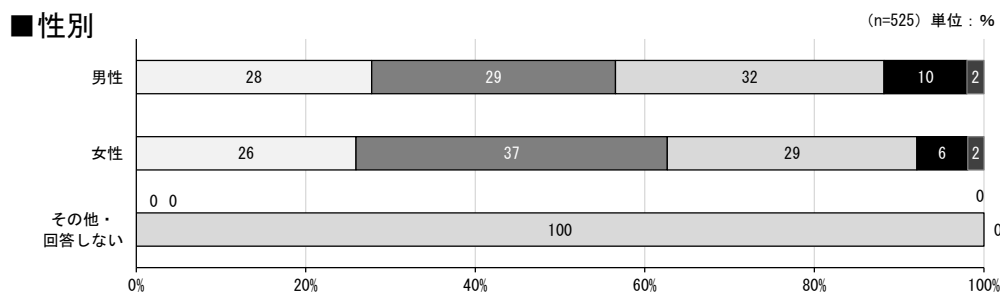
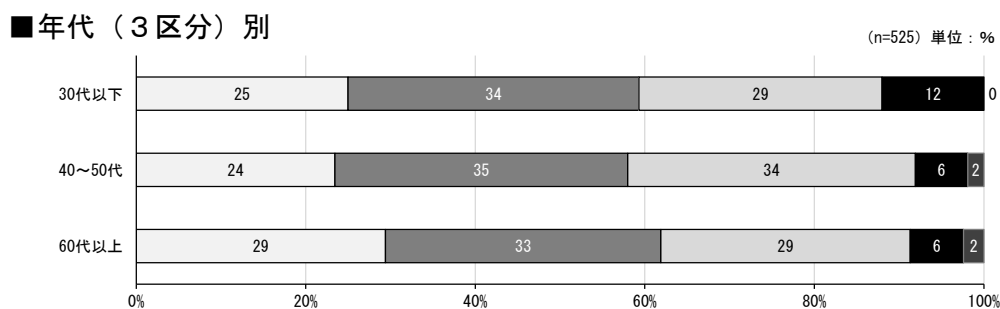
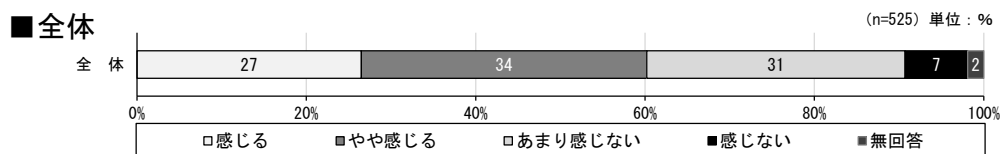
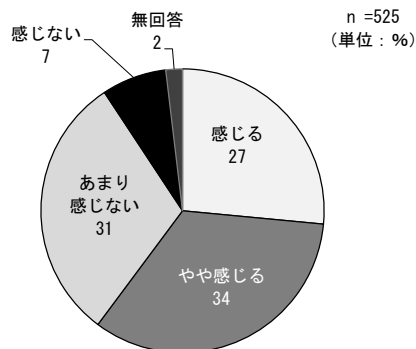


「思う」「どちらかと言えば思う」の合算の割合は約7割

- ・啓発活動の取組に対する地域の安全や区民の防災意識向上の感じ方についてみると、「どちらかと言えば思う」が45%と最も高く、次いで「思う」が23%、「どちらかと言えば思わない」が20%の順となっている。
- ・年代3区分別にみると、『40～50代』の「思う」が15%と他の年代と比べて低くなっている。一方、「どちらかと言えば思う」が54%と他の年代と比べて高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』の“思う”（「思う」＋「どちらかと言えば思う」）が68%、『女性』の同69%とほぼ同じ割合となっている。

問7 区民の防犯意識の向上が、犯罪の発生を抑止していると感じますか。（１つだけ選んでください）

●区民の防犯意識向上による犯罪発生抑止の感じ方（単数回答）



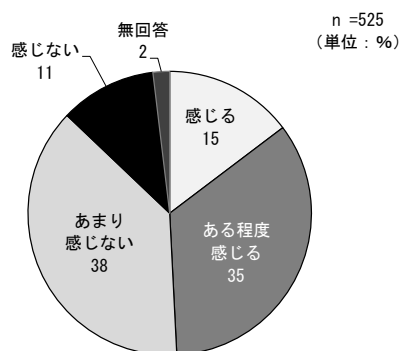
「感じる」「やや感じる」の合算の割合は約6割

- ・区民の防犯意識向上による犯罪発生抑止の感じ方についてみると、「やや感じる」が34%と最も高く、次いで「あまり感じない」が31%、「感じる」が27%の順となっている。
- ・年代3区分別にみると、『60代以上』の“感じる”（「感じる」＋「やや感じる」）が62%と他の年代と比べて高くなっている。
- ・性別にみると、『女性』の“感じる”（「感じる」＋「やや感じる」）が63%と『男性』の同57%と比べて6ポイント高くなっている。

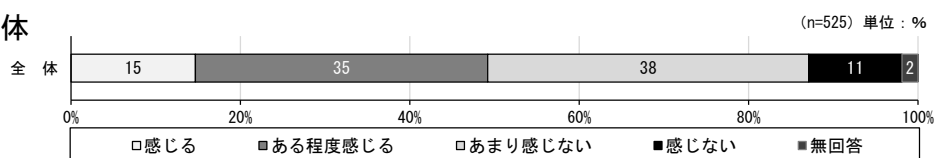
3-4. マナー向上について

問8 区役所の交通マナー向上の取組が、交通事故防止への意識向上につながっていると感じますか。（1つだけ選んでください）

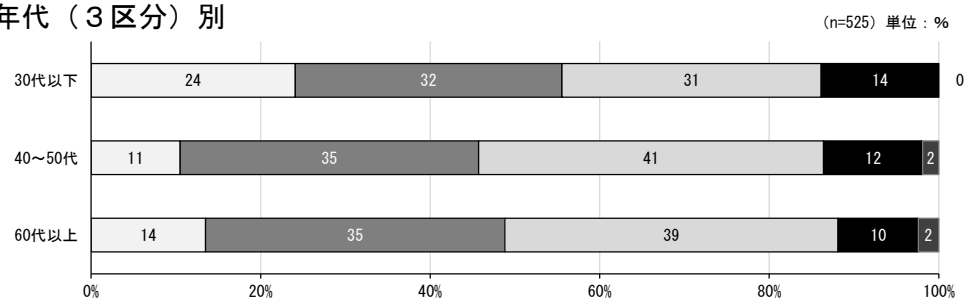
●交通マナー向上の取組（単数回答）



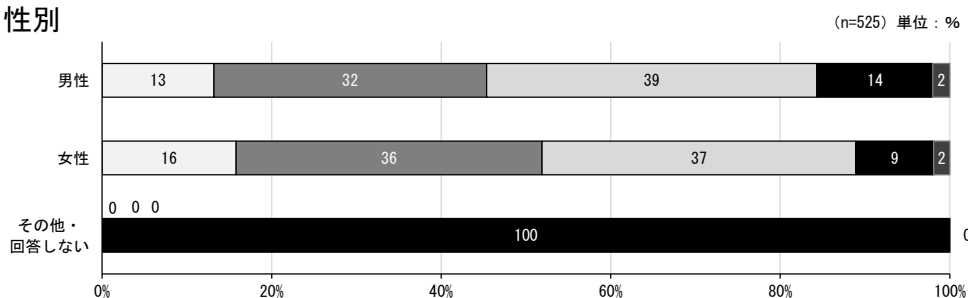
■全体



■年代（3区分）別



■性別

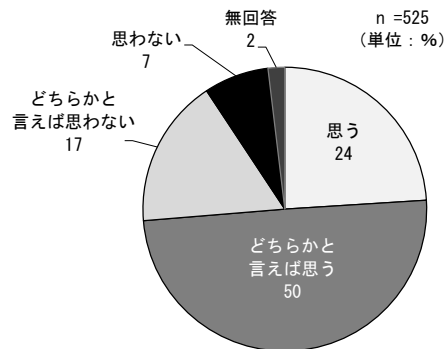


「感じる」「ある程度感じる」の合算の割合は5割

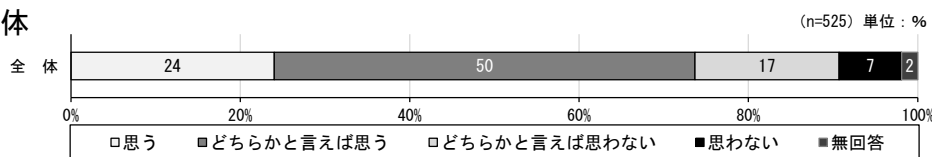
- ・交通マナー向上の取組についてみると、「あまり感じない」が38%と最も高く、次いで「ある程度感じる」が35%、「感じる」が15%の順となっている。
- ・年代3区分別にみると、『30代以下』の“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が56%と他の年代と比べて高くなっている。
- ・性別にみると、『女性』の“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が52%と『男性』の同45%と比べて7ポイント高くなっている。

問 9 市民協働による取組が区民や来街者の環境美化意識の向上につながっていると思いますか。（1つだけ選んでください）

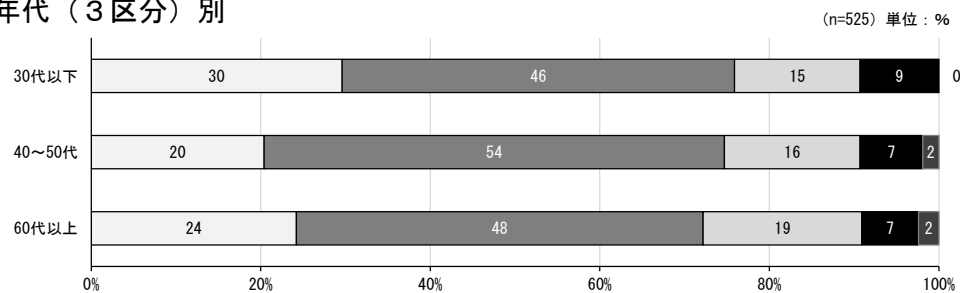
●市民協働による取組に対する来街者の環境美化意識向上の感じ方（単数回答）



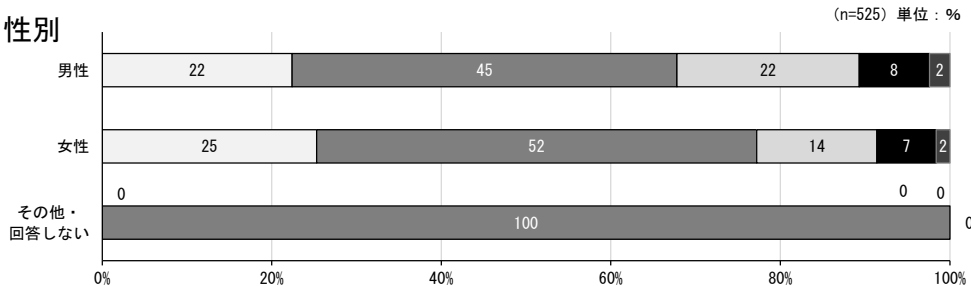
■全体



■年代（3区分）別



■性別



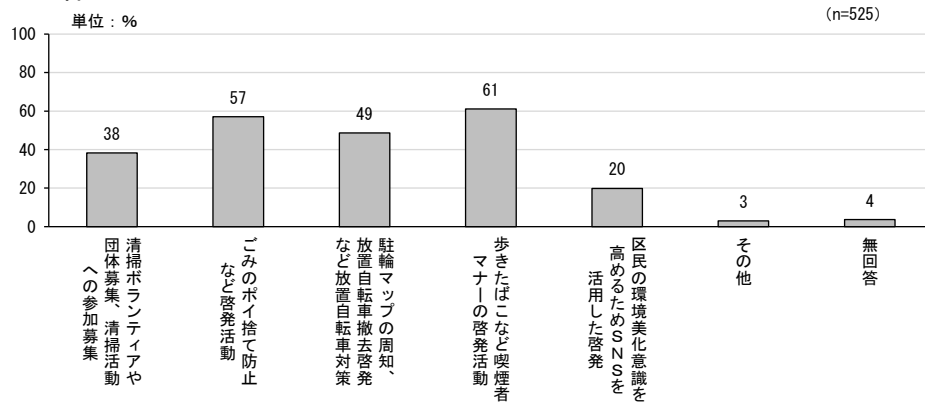
「思う」「どちらかと言えば思う」の合算の割合は7割強

- ・市民協働による取組に対する来街者の環境美化意識向上の感じ方についてみると、「どちらかと言えば思う」が50%と最も高く、次いで「思う」が24%、「どちらかと言えば思わない」が17%の順となっている。
- ・年代3区分別にみると、『40～50代』の「どちらかと言えば思う」が54%と他の年代と比べて高くなっている。
- ・性別にみると、『女性』の“思う”（「思う」＋「どちらかと言えば思う」）が77%と『男性』の同67%と比べて10ポイント高くなっている。

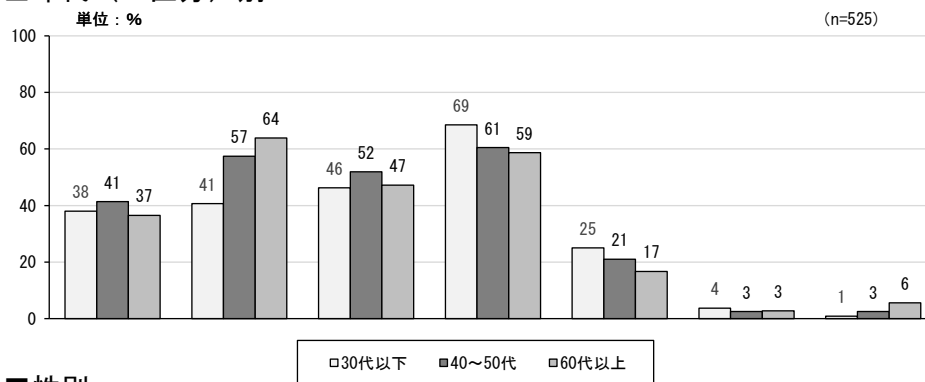
問10 区民の環境美化意識を高めてもらうためには、今後、どのような啓発活動等を推進していくことが必要だと思いますか。（いくつでも選んでください）

●啓発活動等推進の必要性（複数回答）

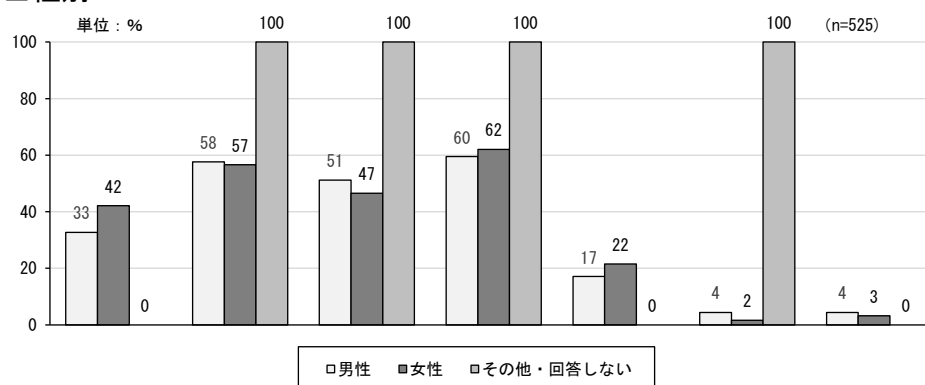
■全体



■年代（3区分）別



■性別

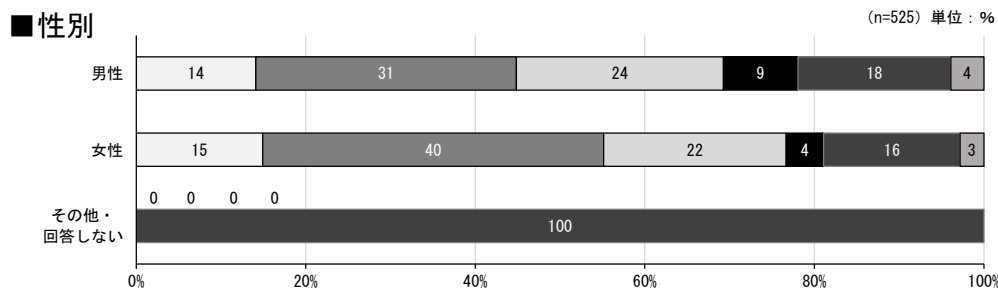
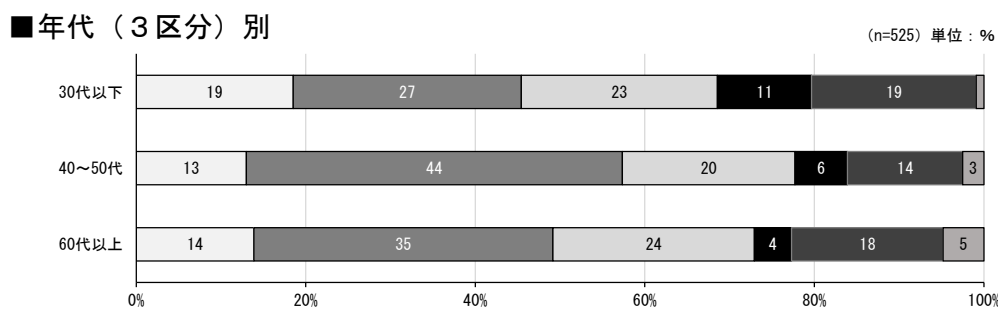
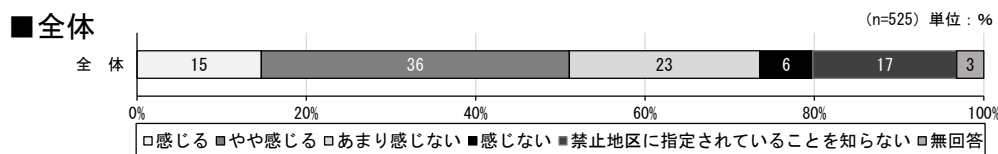
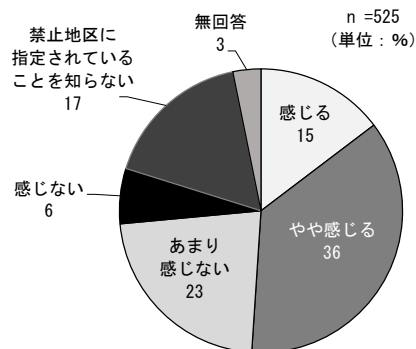


「歩きタバコなど喫煙者マナーの啓発活動」の割合が最も高く約6割

- ・啓発活動等推進の必要性についてみると、「歩きタバコなど喫煙者マナーの啓発活動」が61％と最も高く、次いで「ごみのポイ捨て防止など啓発活動」が57％、「駐輪マップの周知、放置自転車撤去啓発など放置自転車対策」が49％の順となっている。
- ・年代3区分別にみると、『30代以下』『40～50代』においては「歩きタバコなど喫煙者マナーの啓発活動」が最も高くなっている。一方、『60代以上』では「ごみのポイ捨て防止など啓発活動」が最も高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』『女性』とも「歩きタバコなど喫煙者マナーの啓発活動」が最も高く、次いで「ごみのポイ捨て防止など啓発活動」、「駐輪マップの周知、放置自転車撤去啓発など放置自転車対策」の順となっている。

問11 路上喫煙禁止地区（京橋地域）で喫煙マナー啓発などの取組が美しいまちづくりにつながっていると感じますか。（１つだけ選んでください）

●喫煙マナー啓発などの取組による美しいまちづくりへの感じ方（単数回答）



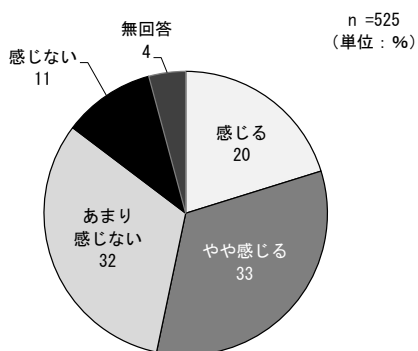
「感じる」「やや感じる」の合算の割合は約５割

- ・喫煙マナー啓発などの取組による美しいまちづくりへの感じ方についてみると、「やや感じる」が36%と最も高く、次いで「あまり感じない」が23%、「禁止地区に指定されていることを知らない」が17%の順となっている。
- ・年代3区分別にみると、『40～50代』の“感じる”（「感じる」＋「やや感じる」）が57%と他の年代と比べて高くなっている。
- ・性別にみると、『女性』の“感じる”（「感じる」＋「やや感じる」）が55%と『男性』の同45%と比べて10ポイント高くなっている。

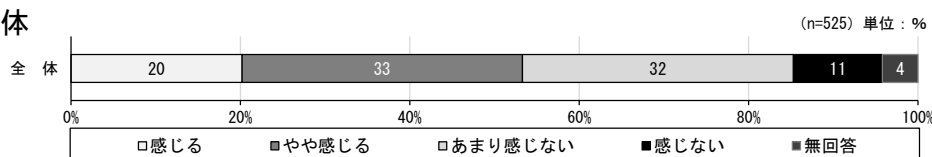
3-5. 地域福祉について

問12 民生委員等の地域の見守りがあることによって、高齢者や障がい者等の方が安心して暮らし続けることができますと感じますか。（1つだけ選んでください）

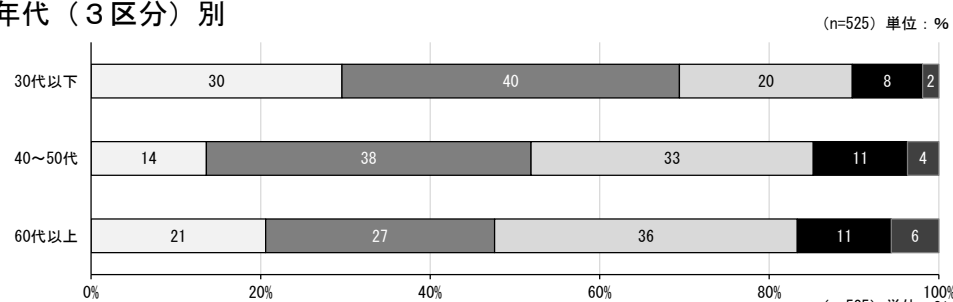
● 民生委員等の地域の見守りによる高齢者等の安心な暮らしへの感じ方（単数回答）



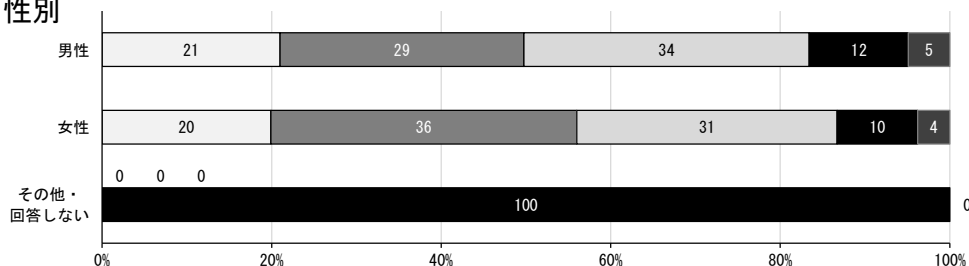
■ 全体



■ 年代（3区分）別



■ 性別



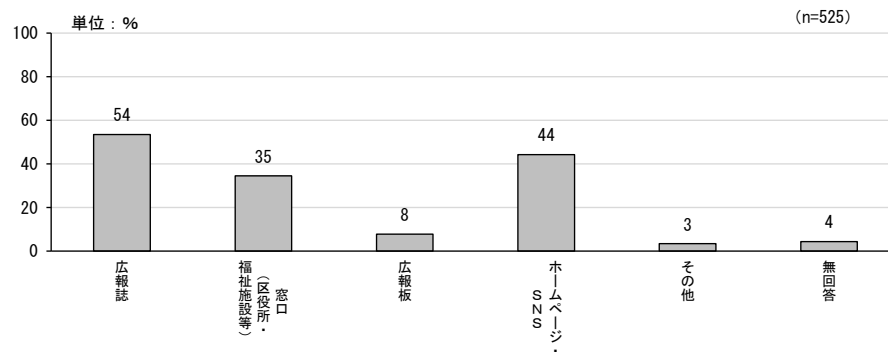
「感じる」「やや感じる」の合算の割合は5割強

- ・ 民生委員等の地域の見守りによる高齢者等の安心な暮らしへの感じ方についてみると、「やや感じる」が33%と最も高く、次いで「あまり感じない」が32%、「感じる」が20%の順となっている。
- ・ 年代3区分別にみると、『30代以下』の“感じる”（「感じる」＋「やや感じる」）が70%と他の年代と比べて高くなっている。
- ・ 性別にみると、『女性』の“感じる”（「感じる」＋「やや感じる」）が56%と『男性』の同50%と比べて6ポイント高くなっている。

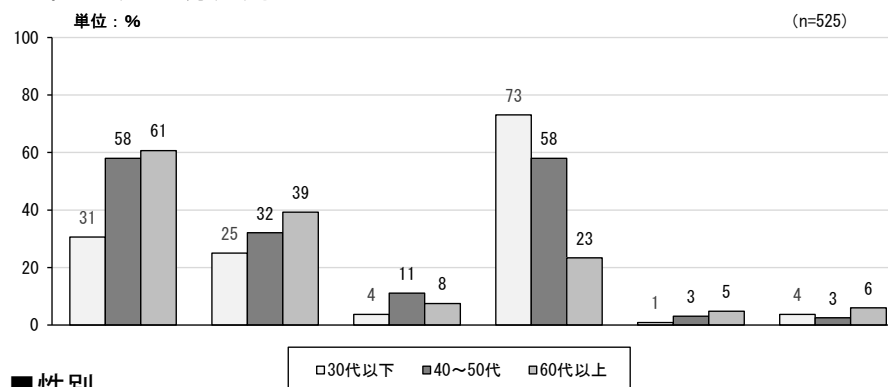
問13 都島区では、下記の身近な福祉サービス（事業）があります。このような福祉サービスを利用する場合、どこから情報収集しますか。（いくつでも選んでください）

●福祉サービスの情報収集先（複数回答）

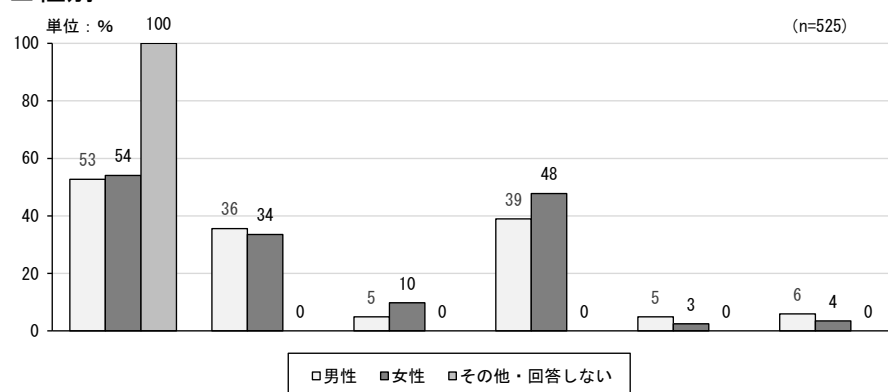
■全体



■年代（3区分）別



■性別

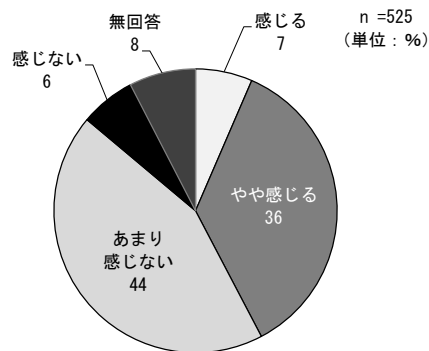


「広報誌」の割合が最も高く5割強

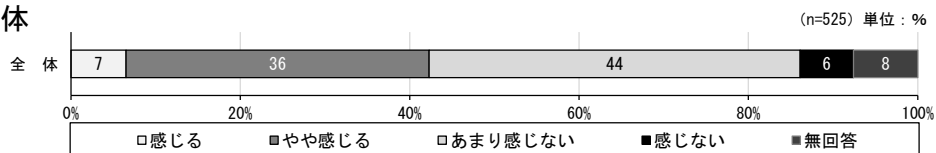
- ・福祉サービスの情報収集先についてみると、「広報誌」が54%と最も高く、次いで「ホームページ・SNS」が44%、「窓口（区役所・福祉施設等）」が35%の順となっている。
- ・年代3区分別にみると、『40～50代』『60代以上』においては「広報誌」が最も高くなっている。一方、『30代以下』では「ホームページ・SNS」が73%と最も高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』『女性』とも「広報誌」が最も高く、次いで「ホームページ・SNS」、「窓口（区役所・福祉施設等）」の順となっている。

問14 都島区が高齢者や障がいのある人にやさしいまちになっていると感じますか。
(1つだけ選んでください)

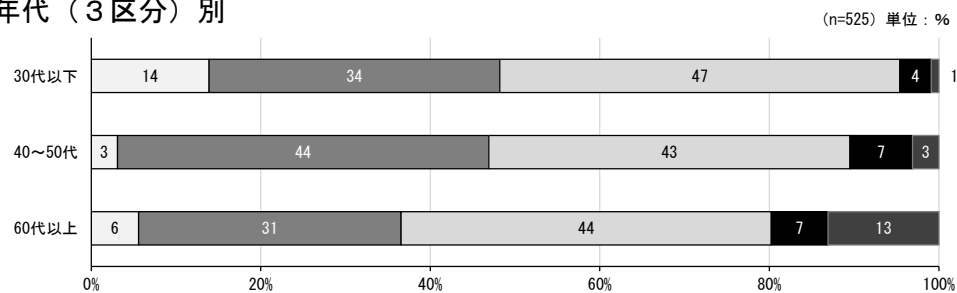
●都島区が高齢者等に対して優しいまちであるかの感じ方（単数回答）



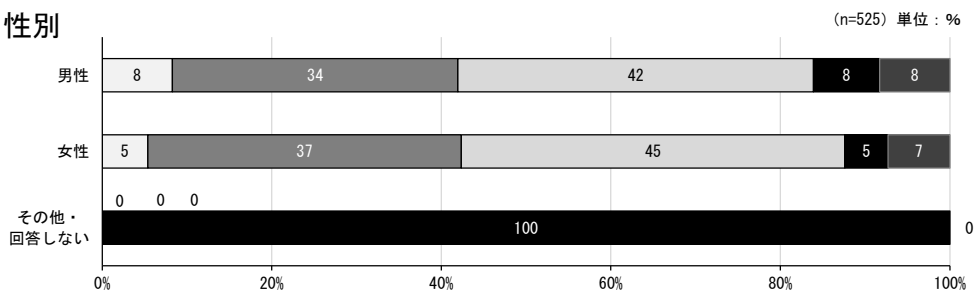
■全体



■年代（3区分）別



■性別



「感じる」「やや感じる」の合算の割合は4割強

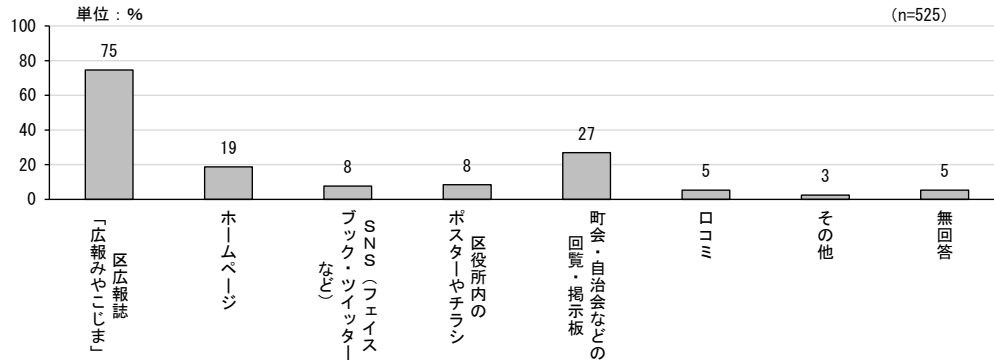
- ・都島区が高齢者等に対して優しいまちであるかの感じ方についてみると、「あまり感じない」が44%と最も高く、次いで「やや感じる」が36%、「感じる」が7%の順となっている。
- ・年代3区分別にみると、『60代以上』の“感じる”（「感じる」＋「やや感じる」）が37%と他の年代と比べて低くなっている。
- ・性別にみると、『男性』『女性』とも“感じる”（「感じる」＋「やや感じる」）が42%となっている。

3-6. 広報誌・ホームページ・SNS

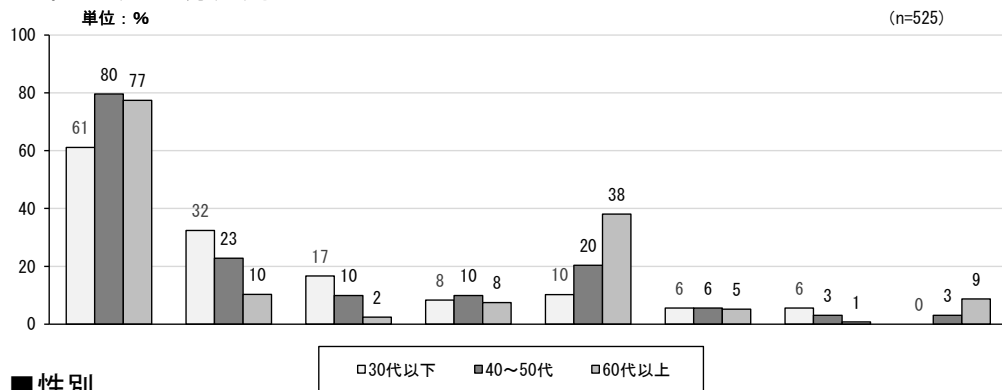
問15 区役所からの情報（イベントやお知らせなど）を、何から入手していますか。
（いくつでも選んでください）

●区役所からの情報の入手先（複数回答）

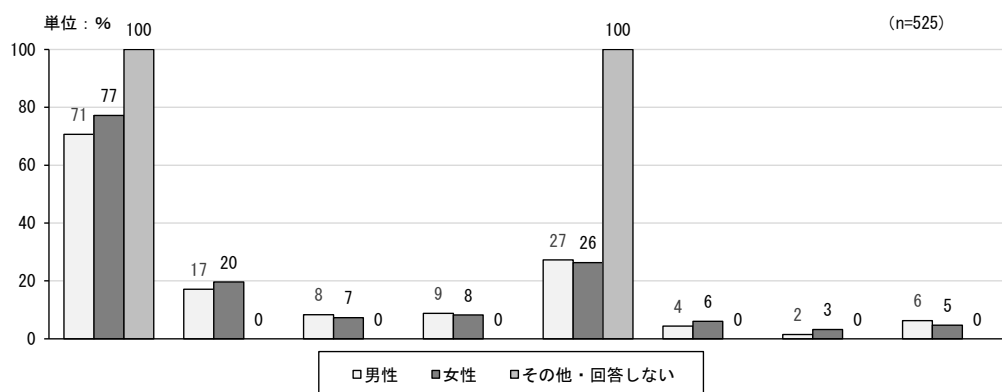
■全体



■年代（3区分）別



■性別



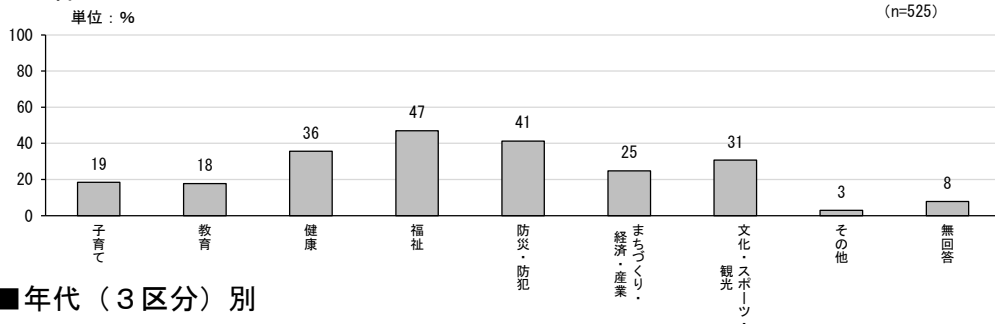
「区広報誌「広報みやこじま」」の割合が最も高く7割半

- ・区役所からの情報の入手先についてみると、「区広報誌「広報みやこじま」」が75%と最も高く、次いで「町会・自治会などの回覧・掲示板」が27%、「ホームページ」が19%の順となっている。
- ・年代3区分別にみると、全ての年代において「区広報誌「広報みやこじま」」が最も高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』『女性』とも「区広報誌「広報みやこじま」」が最も高く、次いで「町会・自治会などの回覧・掲示板」、「ホームページ」の順となっている。

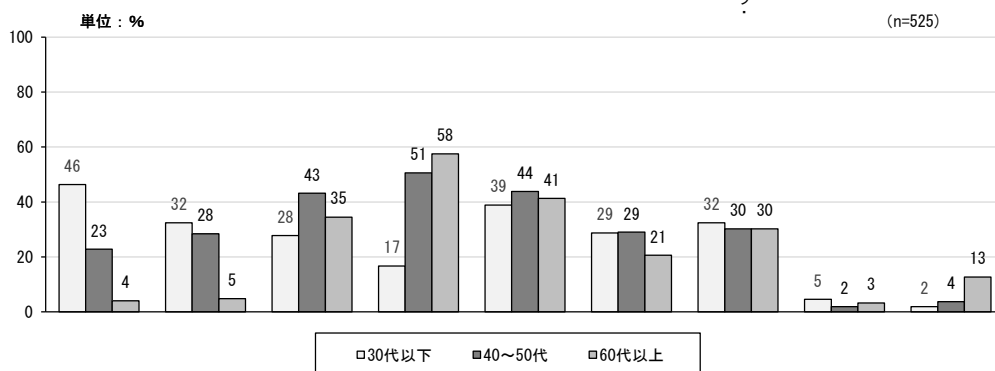
問16 区役所からの情報でもっと詳しく知りたい内容がありますか。（いくつでも選んでください）

●区役所からの情報でもっと詳しく知りたい内容（複数回答）

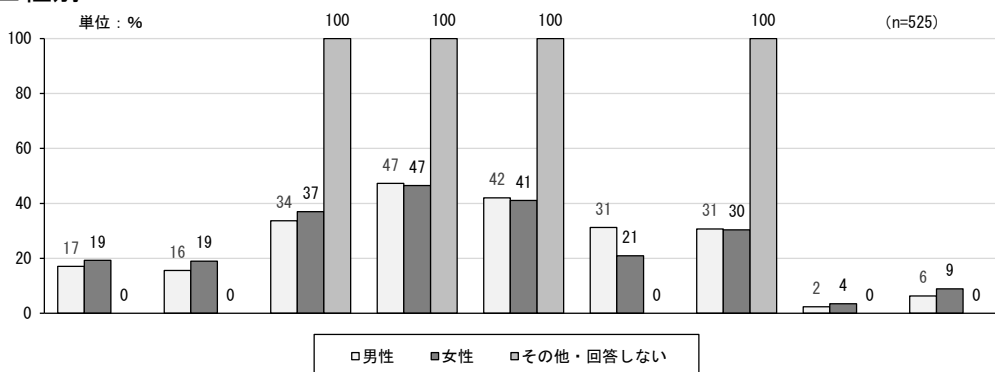
■全体



■年代（3区分）別



■性別



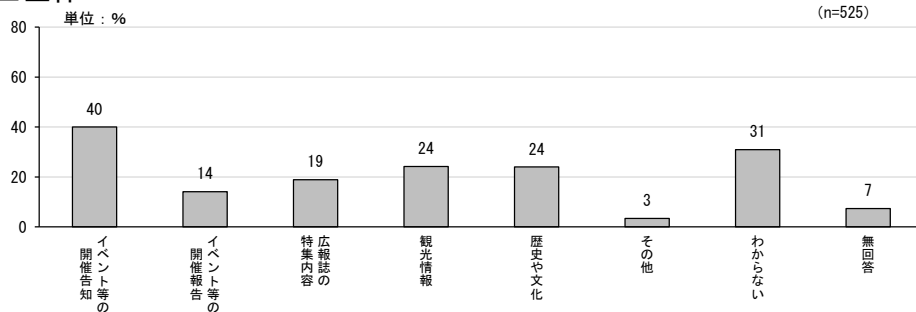
「福祉」の割合が最も高く 5 割弱

- ・区役所からの情報でもっと詳しく知りたい内容についてみると、「福祉」が 47% と最も高く、次いで「防災・防犯」が 41%、「健康」が 36% の順となっている。
- ・年代 3 区分別にみると、『30 代以下』では「子育て」が最も高くなっている。一方、『40～50 代』『60 代以上』では「福祉」が最も高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』『女性』とも「福祉」が最も高く、次いで「防災・防犯」、「健康」の順となっている。

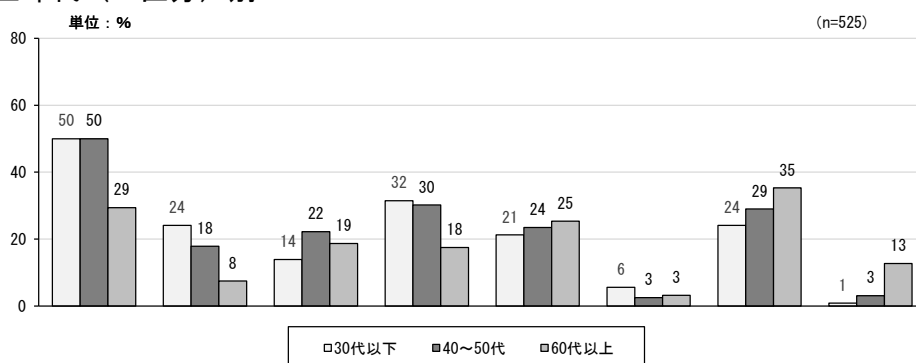
問17 区役所ではYouTubeチャンネルを運営しています。今後、動画配信ではどのようなコンテンツがあれば見たいと思いますか。（いくつでも選んでください）

●動画配信で今後、見たいコンテンツ（複数回答）

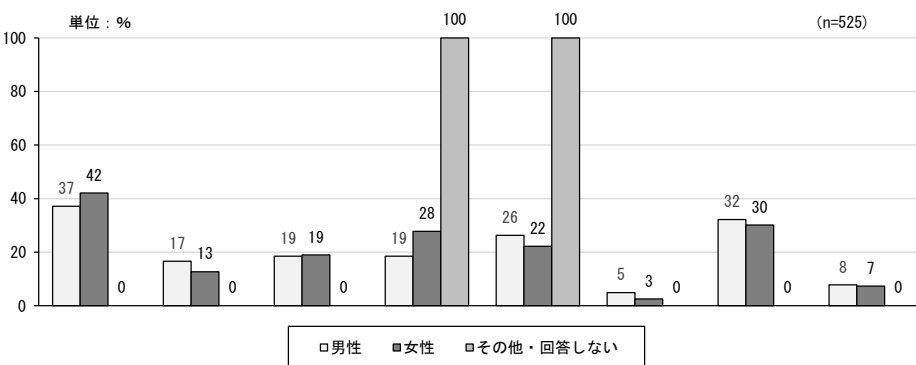
■全体



■年代（3区分）別



■性別

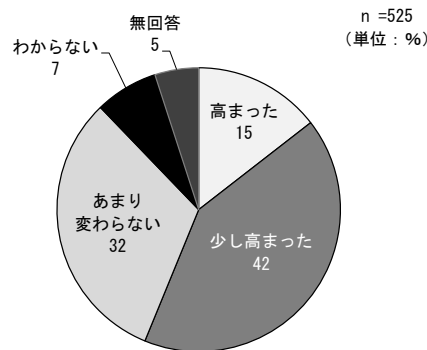


「イベント等の開催告知」の割合が最も高く4割

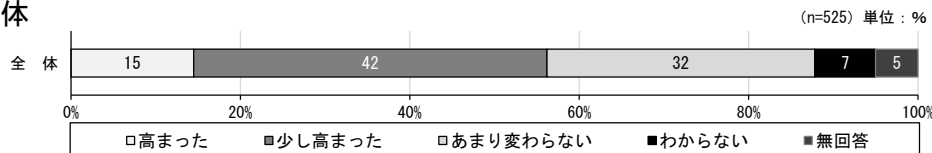
- ・動画配信で今後、見たいコンテンツについてみると、「イベント等の開催告知」が40%と最も高く、次いで「わからない」が31%、「観光情報」「歴史や文化」が共に24%の順となっている。
- ・年代3区分別にみると、『30代以下』『40～50代』においては「イベント等の開催告知」が最も高くなっている。一方、『60代以上』では「わからない」が35%と最も高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』の「イベント等の開催告知」が37%、『女性』の同42%とそれぞれ最も高くなっている。

問18 広報誌においては、市政、区政の動きを分かりやすく提供し、生活に関連する行事やお知らせだけではなく、区の魅力や地域に密着した情報を毎月掲載しています。広報誌をご覧になって、都島区や区政に対し関心が高まったと感じますか。（1つだけ選んでください）

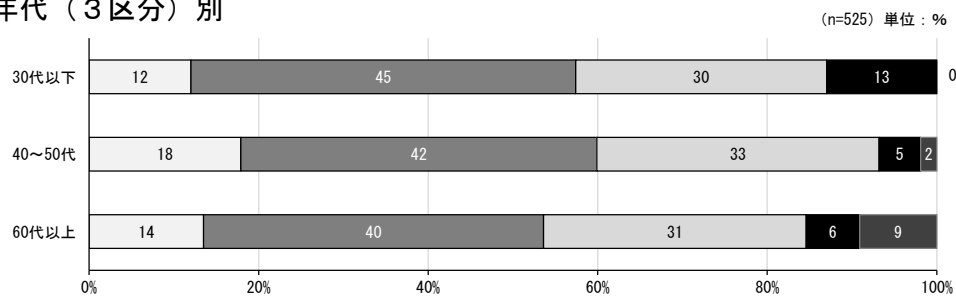
● 広報誌を見て、区や区政に対する関心の感じ方（単数回答）



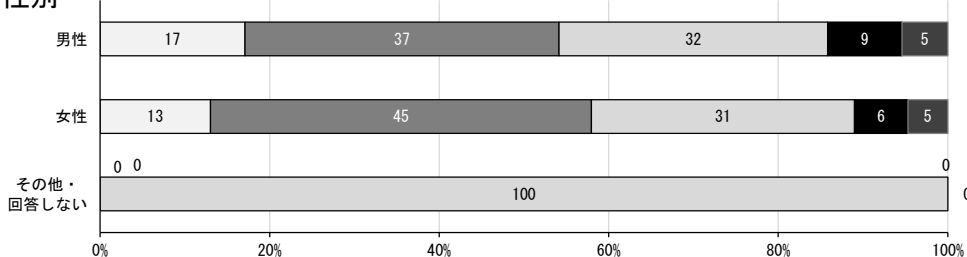
■ 全体



■ 年代（3区分）別



■ 性別



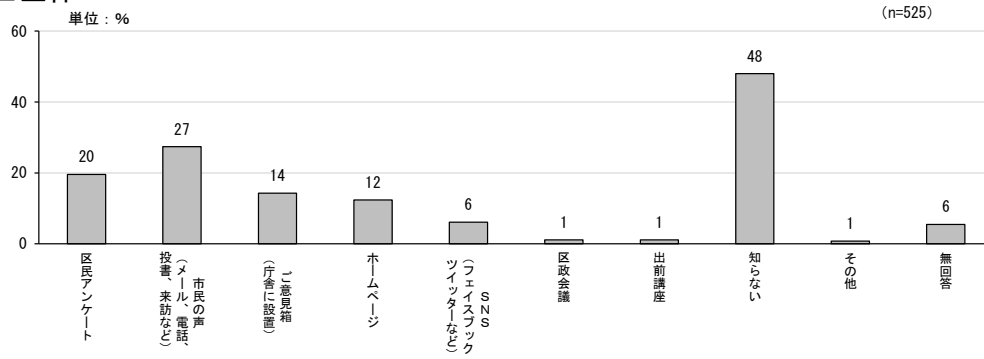
「高まった」「少し高まった」の合算の割合は6割弱

- ・ 広報誌を見て、区や区政に対する関心の感じ方についてみると、「少し高まった」が42%と最も高く、次いで「あまり変わらない」が32%、「高まった」が15%の順となっている。
- ・ 年代3区分別にみると、『40～50代』の“高まった”（「高まった」＋「少し高まった」）が60%と6割となっている。
- ・ 性別にみると、『女性』の“高まった”（「高まった」＋「少し高まった」）が58%と『男性』の同54%と比べて4ポイント高くなっている。

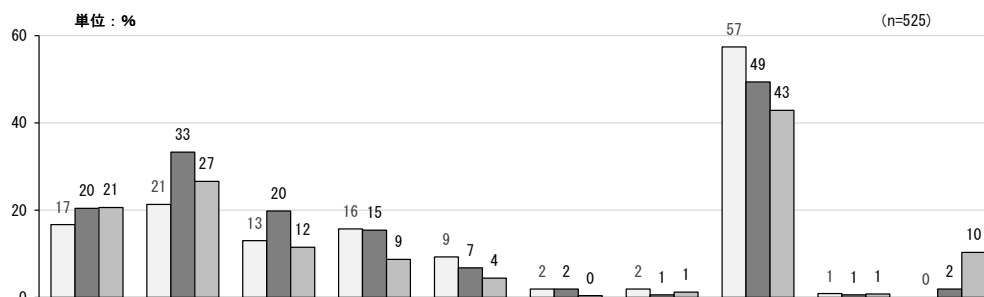
問19 あなたの意見やニーズを区役所に伝える方法を知っていますか。（いくつでも選んでください）

●意見やニーズを区役所へ伝える方法の認知（複数回答）

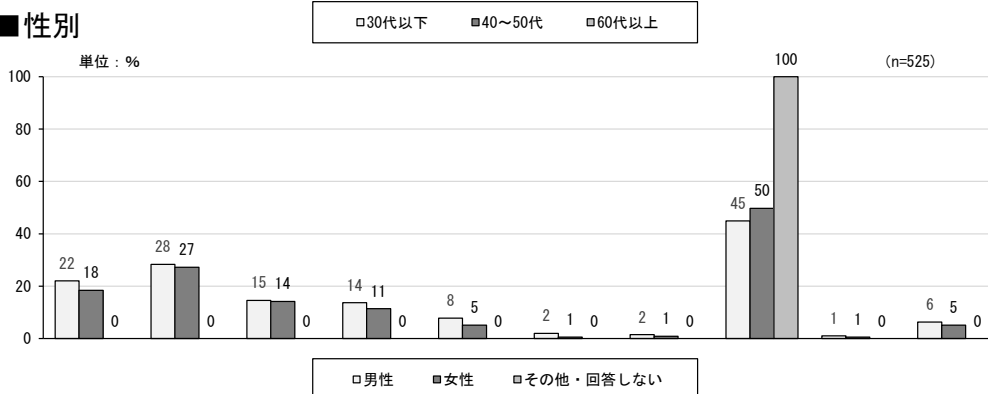
■全体



■年代（3区分）別



■性別



「知らない」の割合が最も高く約5割

- ・意見やニーズを区役所へ伝える方法の認知についてみると、「知らない」が48%と最も高く、次いで「市民の声（メール、電話、投書、来訪など）」が27%、「区民アンケート」が20%の順となっている。
- ・年代3区分別にみると、全ての年代において「知らない」が最も高く、次いで「市民の声（メール、電話、投書、来訪など）」、「区民アンケート」の順となっている。
- ・性別にみると、『男性』『女性』とも「知らない」が最も高く、次いで「市民の声（メール、電話、投書、来訪など）」、「区民アンケート」の順となっている。

3-7. 自由意見

問20 「防災」、「防犯」、「マナーの向上」、「地域福祉」、「広報誌・ホームページ・SNS」についても、ご意見がありましたらご記入ください。また、区政へのご意見やご感想なども、ご自由にご記入ください。

●区政についての意見・感想

①子育て・教育関係について（2件）

ベビーカーで買い物や電車を利用する時、階段が多く移動が困難。エレベーターもみつけにくいし、ないこともある。とても不親切に感じ不便です。

子供の定期検診の待ち時間が長く、時期によっては風邪をひいたとの話を聞いた。忙しいのは十分承知しているが日にちを分ける等、人数を分散してもらえると嬉しい。

②生活支援・福祉について（9件）

1人住まいの高齢者に対して直接行政がそれに準ずるとこへ通じるベルの無料設置

地域福祉というのは、各自のボランティア精神の元、行うものだと思います。その中で同一人物が長く地域（子供会等）に関わる事も普通だと思います。確かに長年のお世話は有難い事ですが、引退後に町会費から継続的に感謝の意味で金一封を支払うのはいかがなものでしょうか？町会全体での決定事項では無く、自分達だけの決定事項です。20数年以上前に子供会のお手伝いをして知りました。この機会に初めて口外出来ました。

不登校に対する居場所支援、引きこもりに対する訪問支援があればいいと思います。家族に対しての支援も充実してほしいです。

学校で道徳の時間を設けて、ただ習うのではなく体験する教育を繰り返し行う事で、子供の言動から家族や大人に周知させた方がすんなり受け入れるのではないかと思います。並行して高齢者と子供のコミュニケーションも活発に行い、高齢者の体験談や知恵を子供に伝え、相互周知をしていく取り組みを続けて行けば、区民の意識も高まるのではないのでしょうか。

1人、2人終活法的支援活動

広報誌は以前より読みやすくなったと思うが、区政会議の報告を見ると障がい者のことが全く議題になっていないように思う。

乳ガン、子宮ガン（無料）の案内を個々に連絡（送付）して欲しいです。

地域猫、野良猫による夜中、早朝の騒音（猫どおしの喧嘩や時折、物が倒れる音など30分程度続くことがあり眠れない）、飲食店近くや狭い建物の間での餌やり（エサ皿が放置されていて人が居ないなど）。車の傷対応（無責任にエサやりを行うのではなく、責任を取る代表格の存在を広報誌等で明らかにしてほしい）。エサやりは道路や他人の敷地ではなく大きい公園で行うなどの配慮が必要では？その他、糞尿による衛生問題についても対策をお願いしたい。

年3～4回区役所を歩き、難病対策、身障者対応にお世話頂いておりますが、大変感謝しております！

③地域活動・地域コミュニティについて（3件）

町会は不要では？古くからの住民、年寄りが幅を効かせて不快です。回覧板も情報が古く紙のムダだと思います。

地域のコミュニティの強化を望みます。ただ、仕事してる人には私もですがなかなか情報得にくいです。退職してすぐの男性の力は余ってるような場面をよくみます（ひまをもてあそばしている）65歳前後くらいの人など。男性の居場所づくりをつくれる環境、方法はなんのでしょうか。最初のきっかけのために行政や社協さんが「この指とまれ」などするのはどうでしょうか。やってたとしたら伝わってないです。届いてないです。

区民祭りが近年しけてきた。バザーや地域の売店などの出店を多く望みます。

④自転車・喫煙・マナー等について (39 件)

先日、朝 9 時前、区役所の前の花壇の所でトイレをしている人がいました。

公共マナーに反している不届者を見ました。気分が悪かったです。公衆トイレはないですか。

暴走バイク、車（特に夜～夜中）、路上でのたむろし（学生、生徒）←夜へのアプローチがもう少しあってほしい。

電池、蛍光灯等回収場所をもう少し増やしてほしい。

自転車の走行ルールをもっと目につきやすい様にしてほしい。←電動ママチャリ（子供乗せる用）

警察に違法駐車（迷惑駐車）について相談したが、一度だけ指導があったようであるが早々に元に戻り、再び違法（迷惑）駐車し放題の状態にある。駐車禁止場所、歩行者・通行車両の妨げになっているところに目を向けて欲しい。

市内全域の路上喫煙禁止は大賛成である。吸い殻のポイ捨てはなくなるはず。

自転車のマナーの向上や危険運転（歩道を歩行者に配慮せず走るなど）取締り

喫煙マナーが悪い。

うちもペットを飼ってますが、フンの始末とかマナーの悪い飼い主が増えたと感じます。ペットに関する情報をもう少し増やしてほしい。避難時にペットと避難できる場所等もよろしくお願いします。

直接関係のないことで申し訳ありませんが、横断歩道での車の一時停止がないドライバーが多いことを強く感じます。この前、子どもさんを 2 人連れのお母さんが「全然止まってくれない」と嘆かれていました。ドライバーのモラル向上につながる啓発活動と合わせて罰則を設けることも必要ではないでしょうか？ ちょっと過激ですみません。きっと多くの人が感じていることだと思いますので…（区民、市民、府民というより国民）えらそうに書いて重ねて申し訳ありませんでした。

歩きタバコ、ポイ捨てをよく見かけますが、個人的注意は怖くてできません。そんな時はどうしたらいいのでしょうか。

マナー向上について啓発活動を行っている地域が多いが、あまり効果を感じない。結局、ごみを捨てる所がない、自転車を停める所が少ない、たばこを吸う所がないと余計に増えている気がする。禁止禁止で進めるのもいいが、何か心理的な啓発ができないのかとマナーを守っていない人を見ると思うし、自分でも考えることがある。

喫煙者のマナー（吸い殻のポイ捨て、空箱のポイ捨てが多い）その他ペットボトル、飲料空缶、マスク等路上に多く散見される。公共の場では美意識が自宅（在宅）に比べて低すぎる。個々の人のモラルが低いことを残念に思っている。

友渕町 1 丁目周辺の歩道整備ありがとうございました。日頃から友渕小学校、分校、友渕児童センター周辺道路、拘置所周りも車やトラックのスピードが速いのが気になっています。「スクールゾーン」や「通学路」マークの設置をしてほしいです。中央線が黄色なのもスピードアップを助長していると思います。通勤や通学自転車、子供乗せ自転車、子供達も多いエリアなので、いつ事故が起こってもおかしくないです。

自転車の方のマナーが悪く事故につながりそうな場面を何回も目の当たりにしています。なんとかありませんか。

歩きタバコ、ポイ捨て、よく見かける。なんとかしてほしい。

たばこのポイ捨てをなくして欲しい。

路上喫煙、特に自転車に乗りながら、歩きタバコを区全域で禁止にして欲しい。

⑧番でも書いたが近年、自家用車の指示器の出し方が遅くなったと思う。左折、右折する交差点の近く、交差点の中で指示器を出す人が多くなった。教習所で教えないのかなあ？

路上喫煙禁止区域の増加

J R 環状線ぞいの商店街にあるタバコの喫煙所が通るたびに不快に思っています。タバコくさい。

都島中央公園のトイレ撤去全面禁煙!! ※路上駐車、子供の健康被害防止のため。

家の前の路上、前日掃除をしているがコンビニのゴミ、タバコの吸い殻などがちらかっている。ゴミバコ、吸い殻入れなどを設置して欲しい。
無登録の電動自転車が目につく。販売時に登録の義務づけを徹底する様に。
歩きタバコをする人、信号無視をする人が多く感じる。
マナーの向上について一番思うのが、あまりにも悪過ぎる。区がやる事にも限りがあると思うが市なり府でも考えてほしい。啓発活動を行っているのはわかるが、区民一人一人にはひびいていないように思う。罰則を設けるにも限度がある。特にひどいと思うのが①自転車運転マナーの悪さ（信号無視、歩行者の前を平気でスピードを落とさずに横切る等）②タバコ、ゴミのポイ捨て（歩道、植込み、ビル、家の玄関先等いっぱい落ちている）※自分の家の前ではしないはずがどうして公共の場では平気でしてしまうのか？
マナー向上に関して特に歩行者、自転車の信号無視が多いと感じます。子供達が居る前で（登下校時）堂々と信号無視する人も居ます。マナー向上のボランティア活動などで意識改革を図れないものでしょうか？せめて自分だけは信号を守ろうと日々心掛けています。
京阪電車の待っている列に電車が到着する直前に先頭の人の上に並んで割り込みをしてきた50代の女性。若い子の方がよほどマナーが良い。ええ大人なのに恥ずかしい。商店街の中で昼間からのんでるおじさんが私の自転車の前カゴにのんだ缶を2本入れた。横に停めていたからか、きもい。モラルの問題ですが。
以前からですけど歩きスマホをしながら、タバコを吸いながら同時にしてる方をよく見かけます。大変危険だと思います。年寄りや小さな子供さんが危険だとすごく思いました。京橋はあまりにもゴミが道路に多いです。
区役所前信号（三叉路）登校、出勤時の自転車の暴走に脅威を感じます。歩道と自転車道の区別をはっきりしていただければと願っています（区役所前住民より）
都島駅前の人々のマナーが悪い。人の流れにあえて逆らって歩く迷惑な人や、スピードを出して走行する自転車、バス停できちんと並ばずしれっと順番抜きをする人など。よその地区から来た友人に「都島ってマナー悪い人多いね」と言われたこともあり、大変迷惑しています。一朝一夕でどうにかできるものではありませんが、対策を考えて頂きたいです。
京橋駅北方面、夜のアーケードに立ち並ぶ客引きが通行の妨げになるのでなんとかならないか
1号線歩道の自転車走行マナー、曜日外のゴミ出し放置、区がもう少し介入して解決してほしい
桜宮駅周辺で、終電近くや深夜に、大声で叫ぶ人やたむろする若者が多く、困っています。何か対策をしてほしいです。
自転車の交通ルールを自転車に乗る全ての人がある機会を増やして欲しい。自転車の交通ルールを知らない人が多すぎる。もっといろんなところで講習をするべきだと思う。小学校の時の講習だけでは不十分だと思う。
道端にゴミが捨てられていて汚い。もう少し綺麗な街であってほしい
空き家の前のゴミ、草
区域全部タバコのポイ捨て、ゴミのポイ捨てを条例化して欲しいです。
京橋駅の喫煙所のそば（喫煙所に入っていない）で喫煙している人を見かけるのが気になります。
関東から越してきましたが、路上喫煙者がかなり多いと感じます。もうすぐ子供が生まれるので心配です。
放置自転車、自転車の信号無視が気になります。犬の散歩マナーが悪いです。糞の始末をしないままです。

⑤防災・防犯について（19件）

防災は大切なことだが、具体的な日頃の対策などは充分理解していないので、頻度よく役立つ情報を提供してほしい。

パトカーは一日に何度も走っていますが、何かあったとかは全く分からず。

防犯カメラを増やしてほしい。信号機の無い横断歩道を渡る時止まらない車が多すぎるので、いつか事故にあいそう。
治安が良くないので、もっと街中に花を沢山植えてほしい。ごみ収集場などもっと家の近くの道とかにも植えてほしい！
友渕在住だが友渕小・中のどちらが避難先なのかかわからない。またマンションが多く、住民も多いので避難者を受け入れる広さではないと思う。乳幼児は保育園で受け入れたらよいのに…。
地震の工事が本当はしたいが経済的に無理。大阪市も少し負担してくれる制度があるのは知っているが実際はその倍はかかる。大きい地震が来た時、私は家の下敷きになって死ぬと思っている。
夜間に暗くて外灯をつけてほしい。カーブミラーがあれば曲がり角等が安心して曲がれる。道のでこぼこ、違法駐車等の道路の事等を手軽に区民の声としてスマホから写真を送ったりしてお知らせしたり要望したり出来るシステムがあれば良いと思っています。(もうすでにそういうのがあるかもしれませんが、もしあるのなら周知してません。)
私は74歳で一人住です。マンションの2Fですが夜の2時頃になるといつもノックをされてピンポと押されてこわいです。
防犯の宣伝カーの声が聞こえると「気をつけよう」と思う一人暮らしの女、ありがとう。
近隣の事件、事故、火災等注意喚起をタイムリーに知れると安心して暮らせると思います。
防犯カメラをもっと付けてほしいです。私と子供(女の子)は怖い目に何度もあっています。家の横でパトロール強化もよろしくお願いします。お忙しいとは思いますが期待しています！
防災、防犯、環境美化のご努力に感謝いたします。応援致します。
防災など9つの校区や町会が単位にされているが、今は町会に未加入の人も多く、自分の町会や校区がわからない人もいると思う。高齢者が町会役員や地域防災リーダーなどやり続けているので、昭和のやり方を見直してほしいです。
家の周りの電灯が少なく暗いです。防犯が心配です。
避難場所について、都島工業だという家族もいるが、府立になっているし、今はわかりません。ほかにもコロナでいろいろやらなくなったことがあり、答えづらい点がありましたが、都島は住みやすいよいまちだと思っています。防災では水に浸かる範囲が広いですが、災害の頻度が生きている間にあるかないか、だと、日ごろの対策の程度がわかりづらくなります。
地域防災の幹部職が年寄りばかりで、実際の災害時に機能するか不安。3.11の時の様に同時多発的に物事が進行した時に、処理しきれずに一次被害の拡大、二次被害の発生を懸念する。もう少し、若い世代にも参加できるように、上の世代には地域の係から立ち退き、若い世代にバトンタッチしていかなければならないタイミング。
特に通学路には防犯カメラを多く設置して欲しい。
防犯についてはカメラ設置で空巢がマイナスとなりました。単独町会でなくエリアでの設置が有効かと思います。
区役所が行う防犯啓発の取り組みとは具体的に何をしておられるのですか？ 交通マナー向上の取り組みとは何を実施しているのですか。広報みやこじま等で教えて下さい。

⑥施設や公園の整備・利用について（4件）

図書館が少し使いづらいので（古い、奥まっている）使いやすくなるとうれしい。
図書館の蔵書数を増やしてほしい。子供や若い人がもっと利用しやすい図書館にしてほしい。これまで住んだことのあるいくつか他の自治体の図書館と比べて圧倒的に利用しづらいと感じる。
都島駅前の駐輪場を増やして下さい。
区役所の駐車場が利用しにくい。区役所に用があって行っている場合、30分くらいは無料にしてほしい。チケットを出すなど、いろいろな方法はあるのではないのでしょうか？ 高齢者を伴っている時など不便に感じます。

⑦住環境・市街環境について（５件）

兵庫県宝塚市から引っ越し３年目になります。大阪（梅田、南区 etc.）に出るのにもとても立地の良い場所でスーパーも選べるほど多くある分、りっぱな商店街があるのに活気がないのが残念です。防犯、防災にもつながっていけば良いと思います。もっと都島を知ってほしいと思っています。宝塚の友人にもおすすめしています。福祉やイベントのボランティアなどあれば参加したいと思っています。

大東町周辺は道路も悪く草木が無造作に生えて汚い。歩行者、車イスの人たちが通りにくいです。

京橋と都島をつなぐバスの本数を増やして欲しい。

中野町にスーパーをたててください。お年寄りが増えてきてちょっとした信号を渡ってまで万代が遠いし、網島町のスーパーも信号を渡らないといけないので大きくなっていいのでスーパーを作ってもらったらありがたいです。何もない中野町は大変なのでよろしくをお願いしたいです。

団地の周辺でスーパーマーケット、病院等へ行く道で通行が多い割に、道中せまく、車道を走っている、接触事故が多い。道幅広める等対策してほしい（城北運河にかかる友渕橋周辺）

⑧市政・区政について（６件）

以前より区政が解りやすくなってきています。今も努力されている事に感謝しております。少しづつで良いので、さらなる充実をお願いします。

橋下市政以後、区政においても職員の仕事に対する姿はずいぶん良い方に変わったと感じます。でも、まだ結果を問われない。責任を問われない職場なので何をやってもパフォーマンス的感があり、あまり本気度を感じません。故に市民区民に伝えたい事が伝わりにくいのかと思います。今はペーパーの時代ではないのでは？…（と言いながらペーパーでの回答。笑）

魅力的な街づくりをしていく上で京橋地域の空き地、淀川廃線跡など進捗が滞っているように見える場所があるのはマイナスイメージを植えつけたいと思います。住民人口が増加した上での区政のさまざまな取り組みだと思しますので、梅田、森之宮に遅れを取らないよう頑張りたいと思います。

いろいろと対象を決めて行うのではなく、一つに絞って実施する方が良いのでは？ 私はまず「マナーの向上」に取り組むべきだと思います。

都島区に住み 40 年以上です。他県に住んでいたこともありましたが家族ですぐ都島区に帰り、子育てしました。自分の子供の頃より住みよい街になっていると感じます。区政にたずさわる方々のおかげです。いつもありがとうございます!!

都島区は住みやすい町だと思うので、もっと意見を吸い上げてもらうような取り組みをしてもいいと思います。

⑨職員・窓口対応について（１件）

職員の方の市民に対してもっと真剣に耳を傾けてほしい!! 何を言っても「これは決まりやから」「これはそういう方針」ですと、話を聞く力をもう少し養って下さい。

⑩広報について（24 件）

「広報みやこじま」は興味を持って拝見させて頂いてます。

都島区は子育て世代にもお年寄り世代にも住みやすい街だと思います。京橋駅周辺の新しい商業施設など広報誌やHPでたくさんとりあげてほしいです。

広報誌はいつも見えています。SNS をやらないので助かっています。

区広報誌の内容をもっと区民の身近な問題、生活上多くの市民が困っていることを取り上げてもらいたい。

広報誌ありがとうございます。上記テーマをもっとわかりやすくインパクトがある情報をお願いします。問われても印象に残っていないので。
広報誌ホッチキスで止める！バラケル。それともっと早く物ってきて。(例、1月号なら12月の末日までとどける)
広報誌に求人欄あり、働く大切さ喜び等のコメントを載せてほしい
広報誌はいらないです。ホームページで見れるようにすれば良いし、印刷費を経費削減した分を福祉に充てたら良いと思います。
高齢者は情報入手が難しい(民生、町会 etc.)
健康講座などの情報も知りたい。
詳しい情報が欲しい。何を見てもわかりにくく情報不足を感じる。
色々発信されていることを初めて知りました。しかし、その効果や実態がこのアンケートでは分からないので回答に困りました。区民として他の市区に誇れる取り組み、特徴を知りたいと思いました。
本紙を俯瞰して見ると、“区民への周知”について政策企画をしようとしているのかなと思いました。行政機関のHPやSNSなんて情報過多のこの時代、恐らくほぼ見ないです。それより再開発されるイオン京橋店やベルファ等の中～大規模商業施設において、都島区住みます芸人の方をMCにして、行政の伝えたいことをネタにした漫才でもすればいかがでしょうか？尼崎市がそんなことしてた気がします。余談ですが、昔マイナンバー制度の広報戦略を企画したことがあります。HPやSNSではとても不可能だとなり、メディア戦略(TVCM)に切り替えました。初めからそうしておけば、ムダ金を使わなかったのに!!と思ったものです。
スマホを使いこなせないので広報誌でしか情報が入らない。
老人に新しい内容を知らせて欲しい。(例)一人暮らしに対する情報、マンションでは町内会加入が難しいので近況がわからない。
スマートフォンを持っていません。地域の事は広報誌で知るか知人から知る程度で広報誌や回覧は発行を続けて下さい。
発信者と受信者には溝があるかなあ?と思います。皆がいい町、いい地域を作ろうと思うことだと思います。
SNS、ホームページ等、ガラケーで一切出来ない。チラシ、ポスター投函して平等な情報入手に努めてほしいです。
大阪の町の中でも都島の歴史は古いと聞きます。もっと都島の歴史、寺、神社、医療施設、交通、教育等知りたいことがいっぱいあります。
SNSやホームページの普及に力を入れて、役所仕事も紙ベースのものを少しずつ減らしてコピー機などもなるべく使用せずSDGsの推進に力を入れて大阪をリードして欲しいです。
SNS、YouTube しません。わからないです。
都島駅周辺に大きなマンションが多数建設されています。他の地域から来られる方も増えると思いますので、この区の良さが守られていくようPRをお願いしたいと思います。
広報誌は区の活動を知る上で良いツールだと思います。個人的には紙以外(メール等)で発信してもらえたらと思います。
SNSからの発信は高齢者や目の悪い人にとっては届かないのではないのでしょうか？都島区に住んでも地域格差はとてもあるように思います。環境や美化意識を向上するためにも区全体で取り組んでほしい。

⑪アンケートについて(1件)

アンケートの送信用封筒、A4用で送っているが、返信用封筒と同じA4三つ折りで十分。郵送料を節約することを考えて下さい。

⑫その他（11 件）

いつもありがとうございます

物が高い。電気も高い。ガスも高い。水道は3ヶ月だけ補助があったが、その後が心配。生活するのがむづかしい。節約…節約、お金（年金）を使わないようにする。

皆が何事も自分の事として行動すれば、より良い町になると思います。お役所の方々に感謝いたします。よろしくお願いいたします。

特になしです。いつもありがとうございました。

日々の業務お疲れ様です

いつもありがとうございます。区民のために今後もよろしくお願いします。

住所のプレートをすぐに取りかえていただきました。ありがとうございます。

大阪市が好きです。都島区友渕町、いいところです。何かご意見をと言われても…。何か今のところ満足しています。ありがたいことです。このままずーっとここに住んでいたいです。

警察による高圧的な態度を数回経験して思う。町づくりに警察は不用。

仕事をしているとなかなか都島のことを知る機会が少ない。また、区民として参加したくてもきっかけがない。

都島区が高齢者に優しい住みよい町になることを心から願います。

令和4年度 都島区民アンケートへのご協力をお願い

～あなたの声が未来の都島にいかされます～

都島区役所では、「安心のまち、人がつながるまち、明日に誇れるまち」の実現に向け、幅広い区民の皆さまからご意見をいただき、今後の区政運営にいかすため、区民アンケートを実施しています。設問は選択式であり、**3分～5分でご回答いただけます。**区政への率直なご意見を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

QRコードから
オンライン回答もできます。

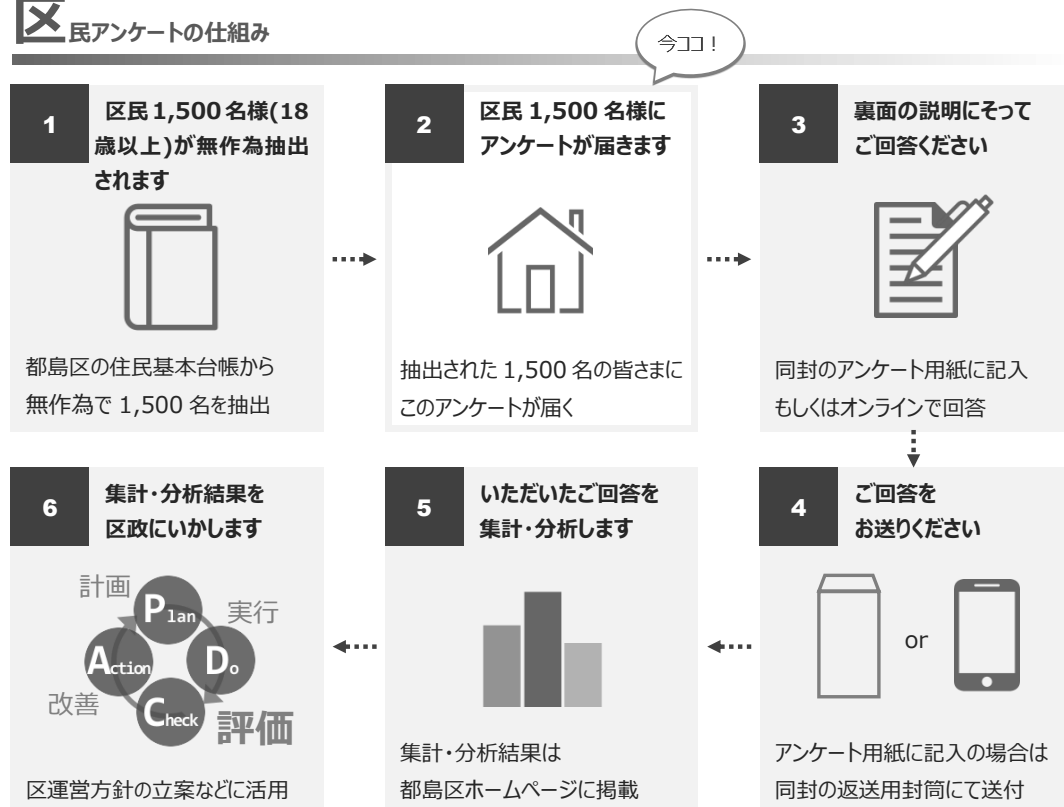


都島区広報キャラクター
都希(とつきー)

令和4年 12月

大阪市都島区長 大畑 和彦

区民アンケートの仕組み



- ※ 病気療養中などによりご回答いただけない場合は、大変お手数ですがアンケート用紙は廃棄してください。
- ※ アンケートの発送・集計作業は、株式会社ユーエヌ土地利用研究所に業務委託しています。

(お問い合わせ先)
都島区役所 総務課(政策企画) 山下・北口
〒534-8501 中野町2丁目16番20号
メール:miyakojima-plan@city.osaka.lg.jp
電話:06-6882-9989



都島区民アンケート回答用紙

質問ごとに該当する答えを選んで、あてはまる数字を○（まる）で囲んでください。

回答用紙は令和5年1月5日（木曜日）までに、同封の封筒でご返送をお願いいたします。

1 まずは、あなた自身のことをお聞かせください。

A. 性別



- 1 男性 2 女性 3 その他・回答しない



B. 年代（令和4年4月1日現在）



- 1 10代 2 20代 3 30代 4 40代 5 50代
6 60代 7 70代以上

C. お住まいの地域



- 1 網島町 2 内代町 3 片町 4 毛馬町 5 善源寺町
6 大東町 7 高倉町 8 友渕町 9 中野町 10 東野田町
11 都島北通 12 都島中通 13 都島本通 14 都島南通 15 御幸町

D. あなたが現在の住所にお住まいになってからの年数をお答えください。



- 1 1年未満 2 1年以上 10年未満 3 10年以上

E. あなたは現在、高校生以下のお子さまの子育てをしていますか。



- 1 している（小学校就学前）
2 している（小学生）
3 している（中学生）
4 している（高校生）
5 していない

該当する数字を
すべて○（まる）で囲んでください

2

災害時には、自宅での在宅避難や親戚等の家などへの分散避難を推奨しています。
在宅避難や分散避難が困難な場合、避難する場所を知っていますか。

(1つだけ選んでください)



1 知っている

2 知らない

3

防災・減災には日頃からの備えが大切です。食料の備蓄、家具の固定、家族との連絡方法の確認など何かひとつでも災害への備えを行っていますか。

(1つだけ選んでください)



1 (何かひとつでも)災害への備えを行っている

⇒問 5 へ

2 備えようと思っているが今はまだしていない

⇒問 4 へ

3 備えていない



4

3 で「2 備えようと思っているが今はまだしていない」「3 備えていない」と回答した方におたずねします。
災害への備えを行っていない理由として当てはまるものをお答えください。

(いくつでも選んでください)



1 備えをするきっかけがないから

4 時間がないから

2 何を備えたら良いかわからないから

5 災害が起こっても大丈夫だと思っているから

3 お金がかかるから

6 その他 ()

5

台風や地震などの災害が起こった場合には、近隣住民同士で声掛けなどの助け合い(共助)が重要となってきます。日頃から、助け合い(共助)ができる関係づくりが必要だと思いますか。(1つだけ選んでください)



1 思う

3 あまり思わない

2 どちらかと言えば思う

4 思わない

※ 各地域では、地域防災リーダーや町会の役員の方々が主体となって自主防災組織を設置し、
「自分たちの地域は自分たちで守る」という共助の精神をもって防災活動を実施されています。

防犯について

6

区役所が行う防犯啓発の取組が地域の安全や、区民の防犯意識の向上につながっていると思いますか。（1つだけ選んでください）



- 1 思う
- 2 どちらかと言えば思う
- 3 どちらかと言えば思わない
- 4 思わない

【区役所の取組】

警察等の関係機関と連携し、広報誌やFacebook、Twitter、青色防犯パトロールのアナウンスなどを実施しています。



7

区民の防犯意識の向上が、犯罪の発生を抑止していると感じますか。（1つだけ選んでください）



- | | |
|---------|-----------|
| 1 感じる | 3 あまり感じない |
| 2 やや感じる | 4 感じない |

マナー向上について

8

区役所の交通マナー向上の取組が、交通事故防止への意識向上につながっていると感じますか。（1つだけ選んでください）



- 1 感じる
- 2 ある程度感じる
- 3 あまり感じない
- 4 感じない

【区役所の取組】

警察等の関係機関と連携し、交通ルールやマナーの啓発活動（交通安全キャンペーン・こども見守り活動）などを実施しています。



9

市民協働による取組が区民や来街者の環境美化意識の向上につながっていると思いますか。（1つだけ選んでください）



- 1 思う
- 2 どちらかと言えば思う
- 3 どちらかと言えば思わない
- 4 思わない

【市民協働による取組】

都島クリーン作戦などボランティア清掃の取組を推進しています。
また、地域や商店街等と協働し、京橋駅周辺を中心に放置自転車対策やごみのポイ捨て防止などのマナー啓発に取り組んでいます。



区民の環境美化意識を高めてもらうためには、今後、どのような啓発活動等を推進していくことが必要だと思いますか。（いくつでも選んでください）



- | | | | |
|---|-----------------------------|---|---------------------------|
| 1 | 清掃ボランティアや団体募集、清掃活動への参加募集 | 4 | 歩きたばこなど喫煙者マナーの啓発活動 |
| 2 | ごみのポイ捨て防止など啓発活動 | 5 | 区民の環境美化意識を高めるためSNSを活用した啓発 |
| 3 | 駐輪マップの周知、放置自転車撤去啓発など放置自転車対策 | 6 | その他（ ） |

路上喫煙禁止地区（京橋地域）で喫煙マナー啓発などの取組が美しいまちづくりにつながっていると感じますか。（1つだけ選んでください）



- 1 感じる
- 2 やや感じる
- 3 あまり感じない
- 4 感じない
- 5 禁止地区に指定されていることを知らない

区役所では地域団体、商店会、企業などと「京橋地域の安全なまちづくり連絡協議会」を設立し、放置自転車・喫煙マナーなど、まちの美化に取り組んでいます。

平成 27 年 2 月から健康被害やポイ捨てを防止し、歩行者が安全に通行できる環境を整備するため、京橋駅周辺を路上喫煙禁止地区に指定しています。



地域福祉について

民生委員等の地域の見守りがあることによって、高齢者や障がい者等の方が安心して暮らし続けることができると感じますか。（１つだけ選んでください）



- 1 感じる 3 あまり感じない
2 やや感じる 4 感じない

都島区では、下記の身近な福祉サービス（事業）があります。このような福祉サービスを利用する場合、どこから情報収集しますか。（いくつでも選んでください）



- 1 広報誌
- 2 窓口（区役所・福祉施設等）
- 3 広報板
- 4 ホームページ・SNS
- 5 その他（ ）

【福祉サービス（事業）】

- ・ 民生委員・児童委員・主任児童委員
- ・ 地域福祉コーディネーター
- ・ 見守り相談室
- ・ 地域包括支援センター総合窓口（ランチ）
- ・ 都島オレンジチーム（認知症初期集中支援チーム）
- ・ 障がい者基幹相談支援センター

14

都島区が高齢者や障がいのある人にやさしいまちになっていると感じますか。
(1つだけ選んでください)



- | | |
|---------|-----------|
| 1 感じる | 3 あまり感じない |
| 2 やや感じる | 4 感じない |

広報誌・ホームページ・SNS

15

区役所からの情報（イベントやお知らせなど）を、何から入手していますか。
(いくつでも選んでください)



- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1 区広報誌「広報みやこじま」 | 5 町会・自治会などの回覧・掲示板 |
| 2 ホームページ | 6 口コミ |
| 3 SNS
(フェイスブック・ツイッターなど) | 7 その他 () |
| 4 区役所内のポスターやチラシ | |



広報誌は区ホームページ
からもご覧いただけます。

16

区役所からの情報でもっと詳しく知りたい内容はありますか。
(いくつでも選んでください)



- | | | |
|-------|---------------|--------------|
| 1 子育て | 4 福祉 | 7 文化・スポーツ・観光 |
| 2 教育 | 5 防災・防犯 | 8 その他 () |
| 3 健康 | 6 まちづくり・経済・産業 | |

17

区役所ではYouTube チャンネルを運営しています。今後、動画配信ではどのような
コンテンツがあれば見たいと思いますか。(いくつでも選んでください)



- | | |
|--------------|-----------|
| 1 イベント等の開催告知 | 5 歴史や文化 |
| 2 イベント等の開催報告 | 6 その他 () |
| 3 広報誌の特集内容 | 7 わからない |
| 4 観光情報 | |

18

広報誌においては、市政、区政の動きを分かりやすく提供し、生活に関連する行事やお知らせだけではなく、区の魅力や地域に密着した情報を毎月掲載しています。

広報誌をご覧になって、都島区や区政に対し関心が高まったと感じますか。

(1つだけ選んでください)



- | | |
|----------|------------|
| 1 高まった | 3 あまり変わらない |
| 2 少し高まった | 4 わからない |

19

あなたの意見やニーズを区役所に伝える方法を知っていますか。

(いくつでも選んでください)



- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1 区民アンケート | 5 SNS (フェイスブック・ツイッターなど) |
| 2 市民の声
(メール、電話、投書、来訪など) | 6 区政会議 |
| 3 ご意見箱 (庁舎に設置) | 7 出前講座 |
| 4 ホームページ | 8 知らない |
| | 9 その他 () |

20

「防災」、「防犯」、「マナーの向上」、「地域福祉」、「広報誌・ホームページ・SNS」についても、ご意見がありましたらご記入ください。また、区政へのご意見や感想なども、ご自由にご記入ください。

.....

.....

.....



質問は以上です。ご回答ありがとうございました。